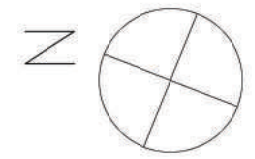
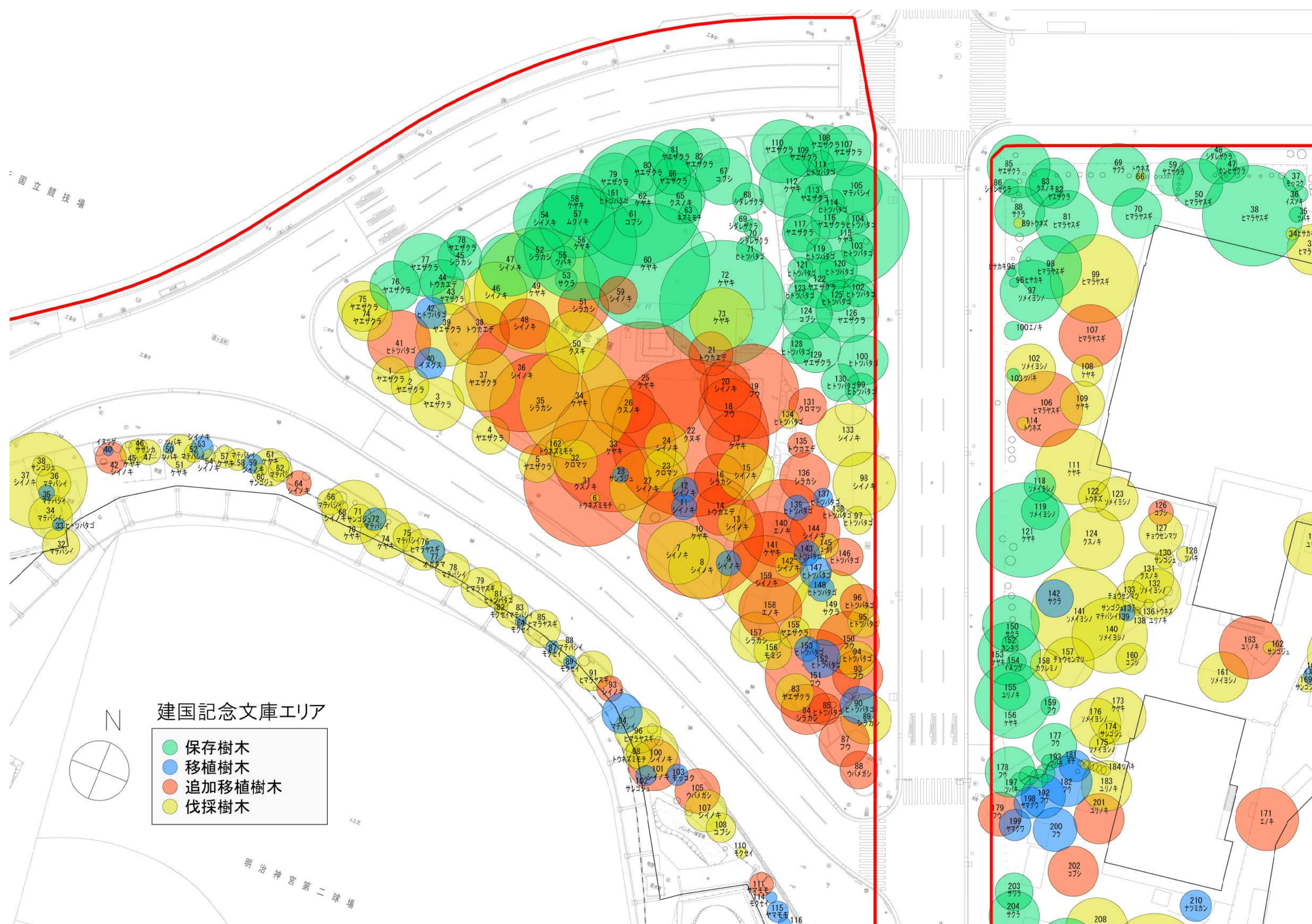
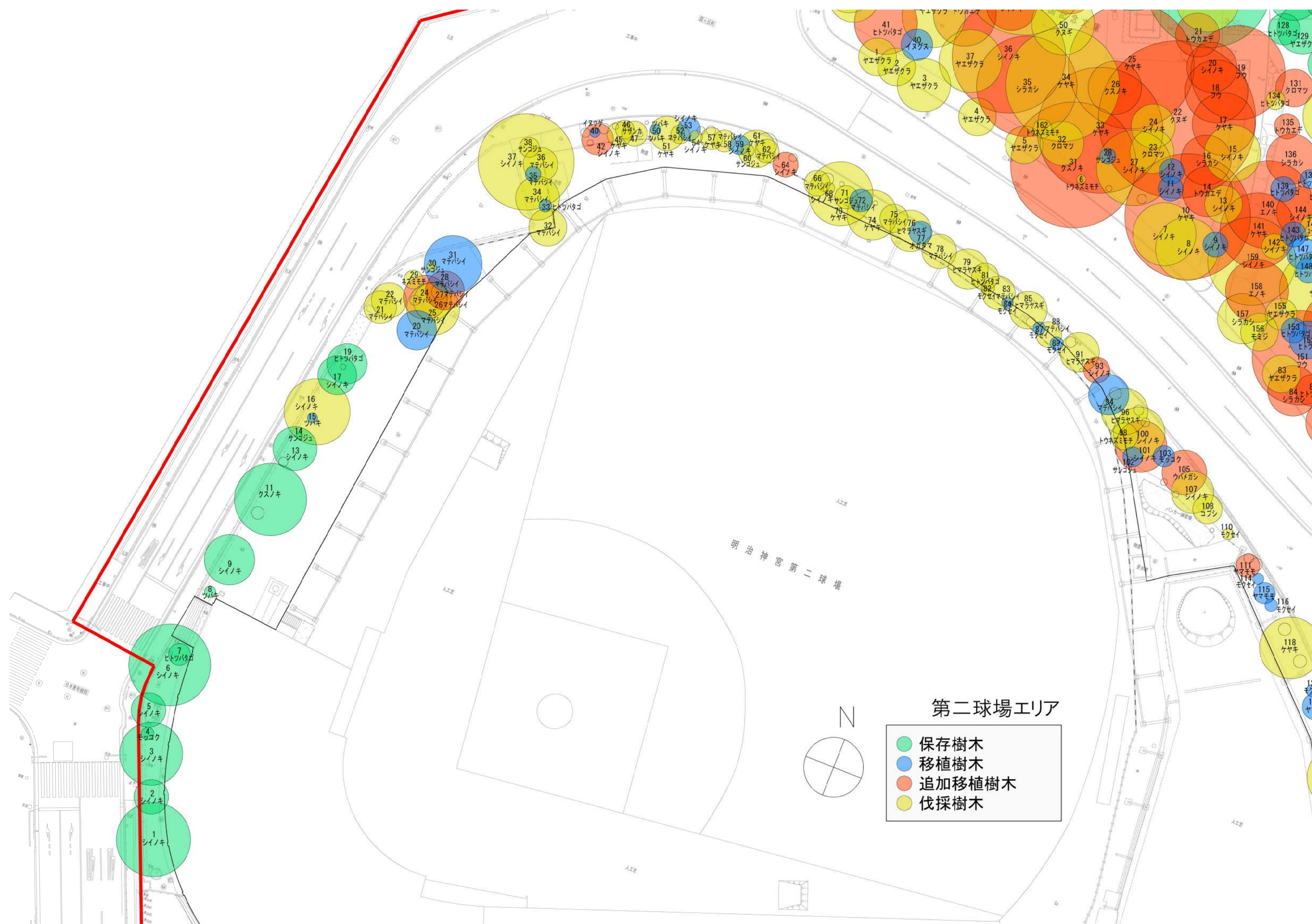


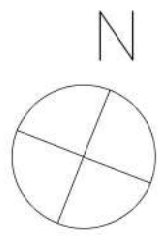
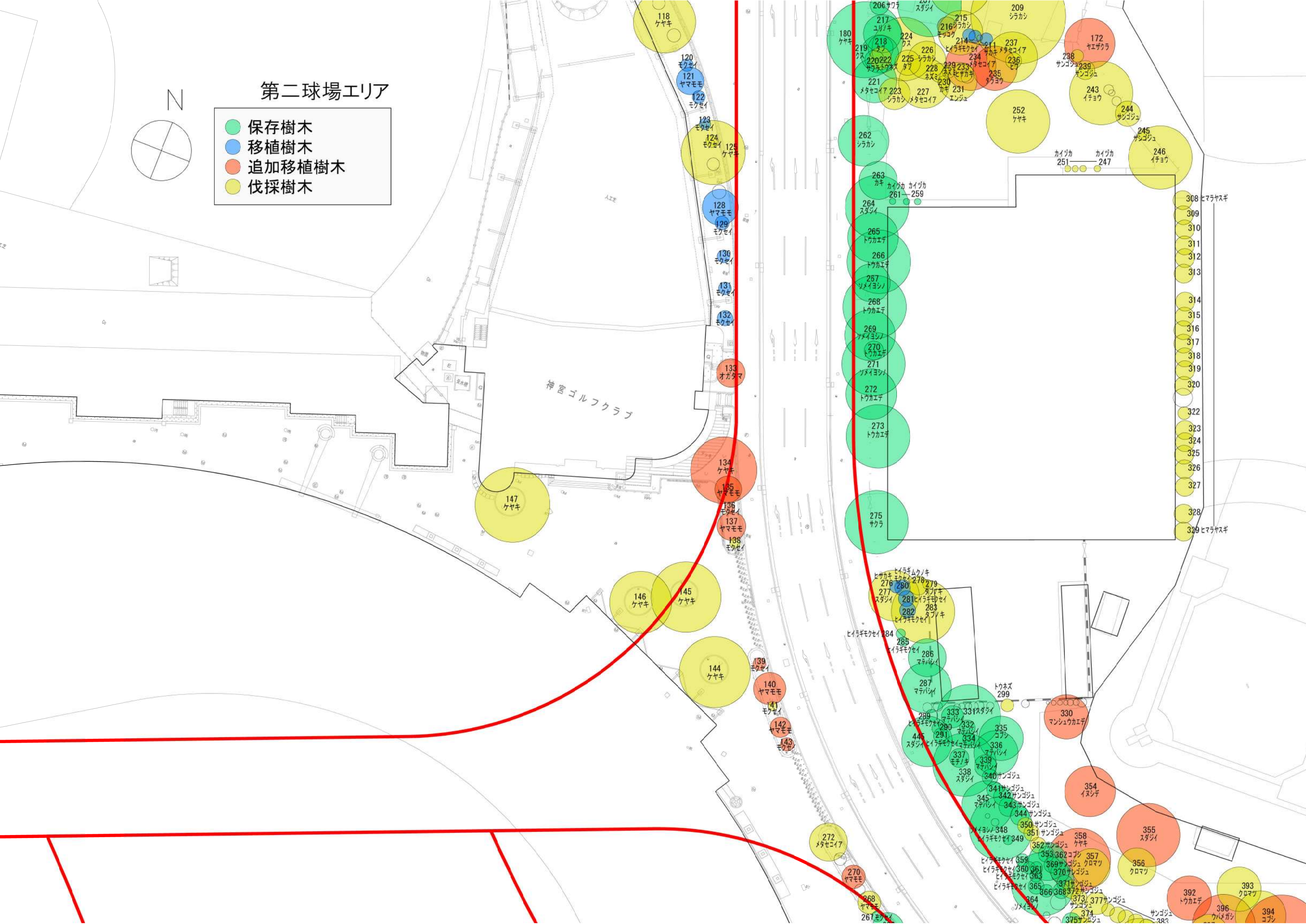
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木
- 移植検討樹木



■ 樹木配置図（現況）







第二球場エリア

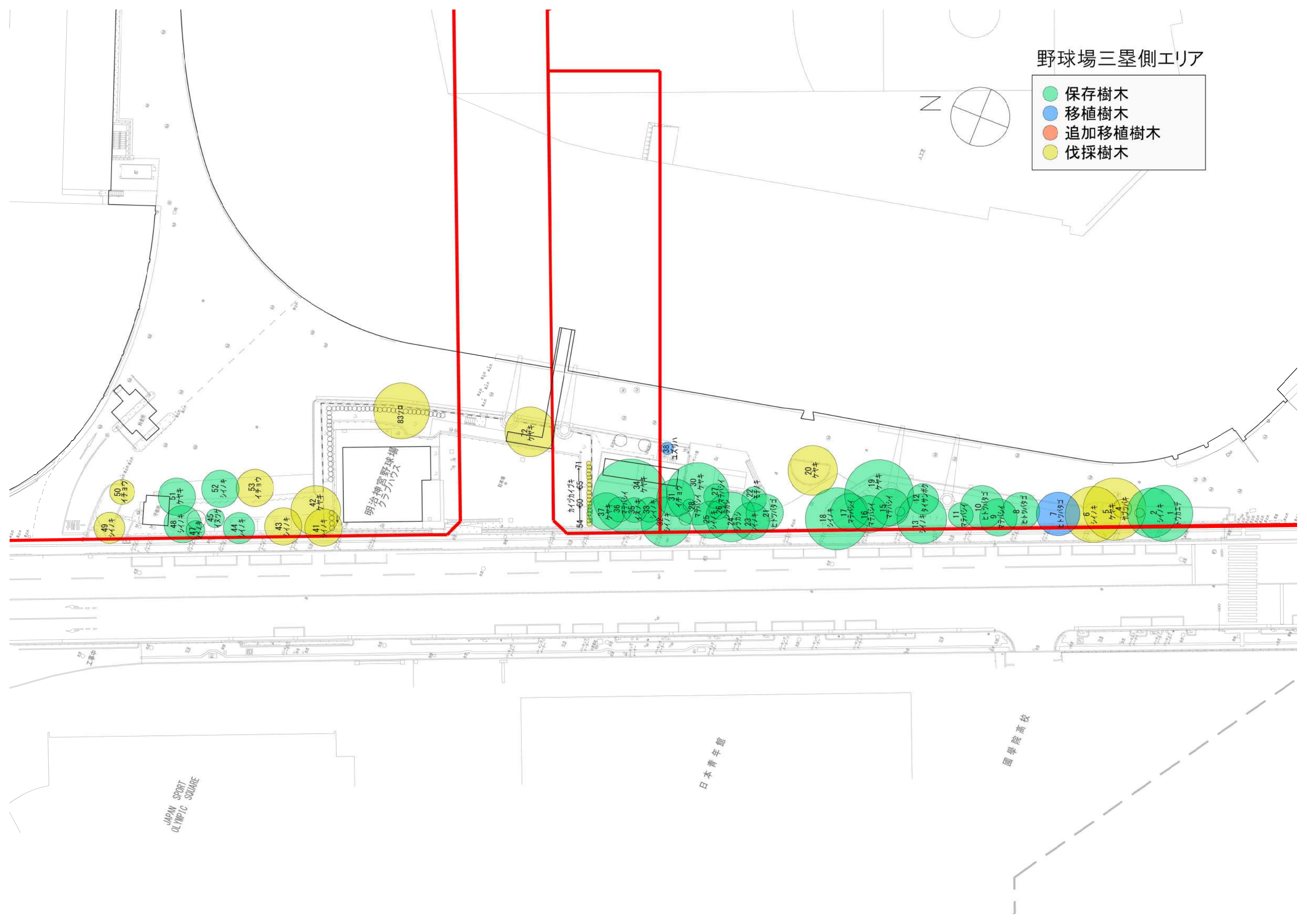
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

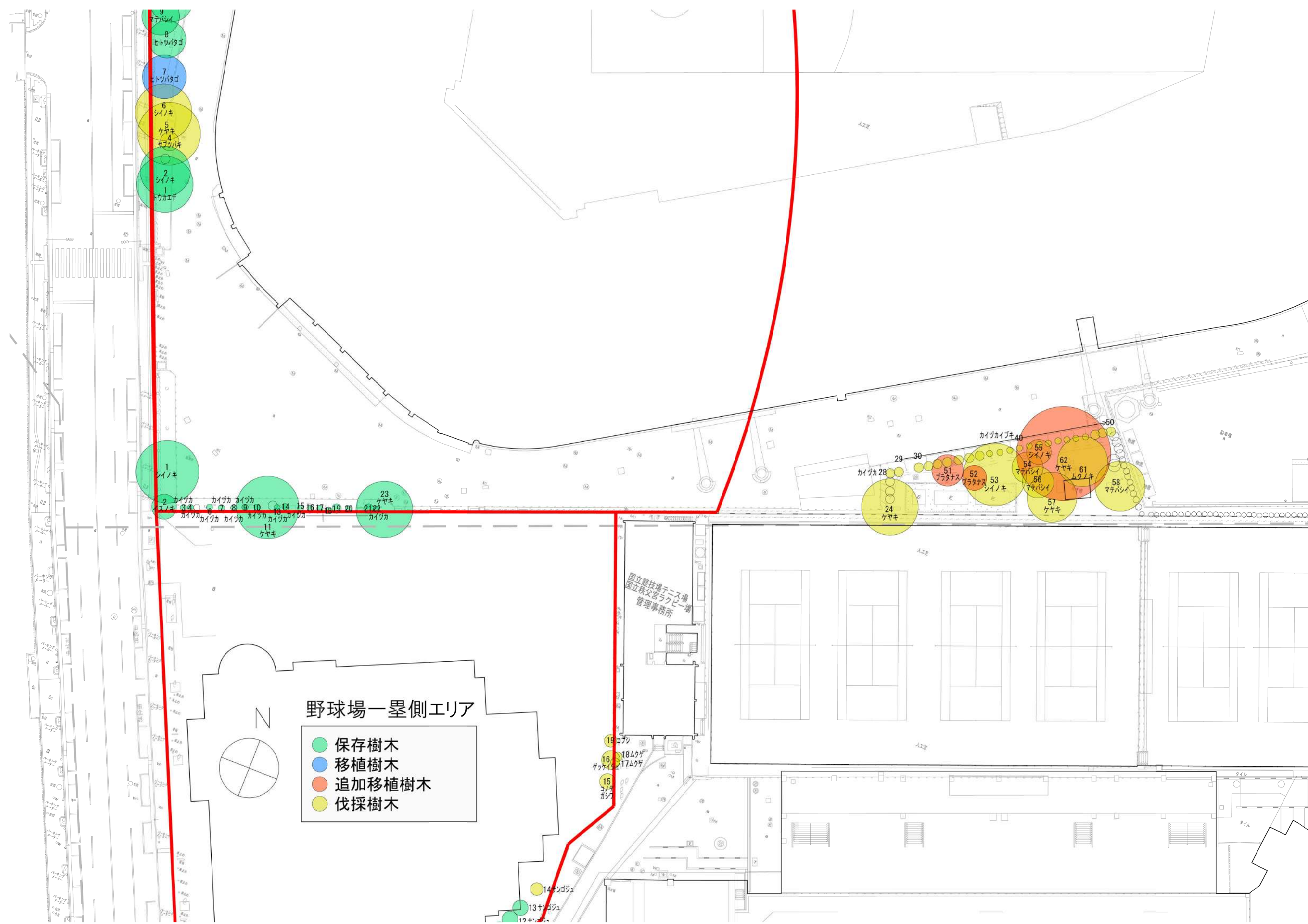
神宮ゴルフクラブ

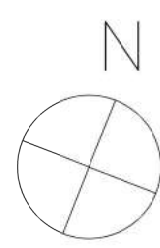
- 308 ヒマヤナスギ
- 309
- 310
- 311
- 312
- 313
- 314
- 315
- 316
- 317
- 318
- 319
- 320
- 322
- 323
- 324
- 325
- 326
- 327
- 328
- 329 ヒマヤナスギ

野球場三塁側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

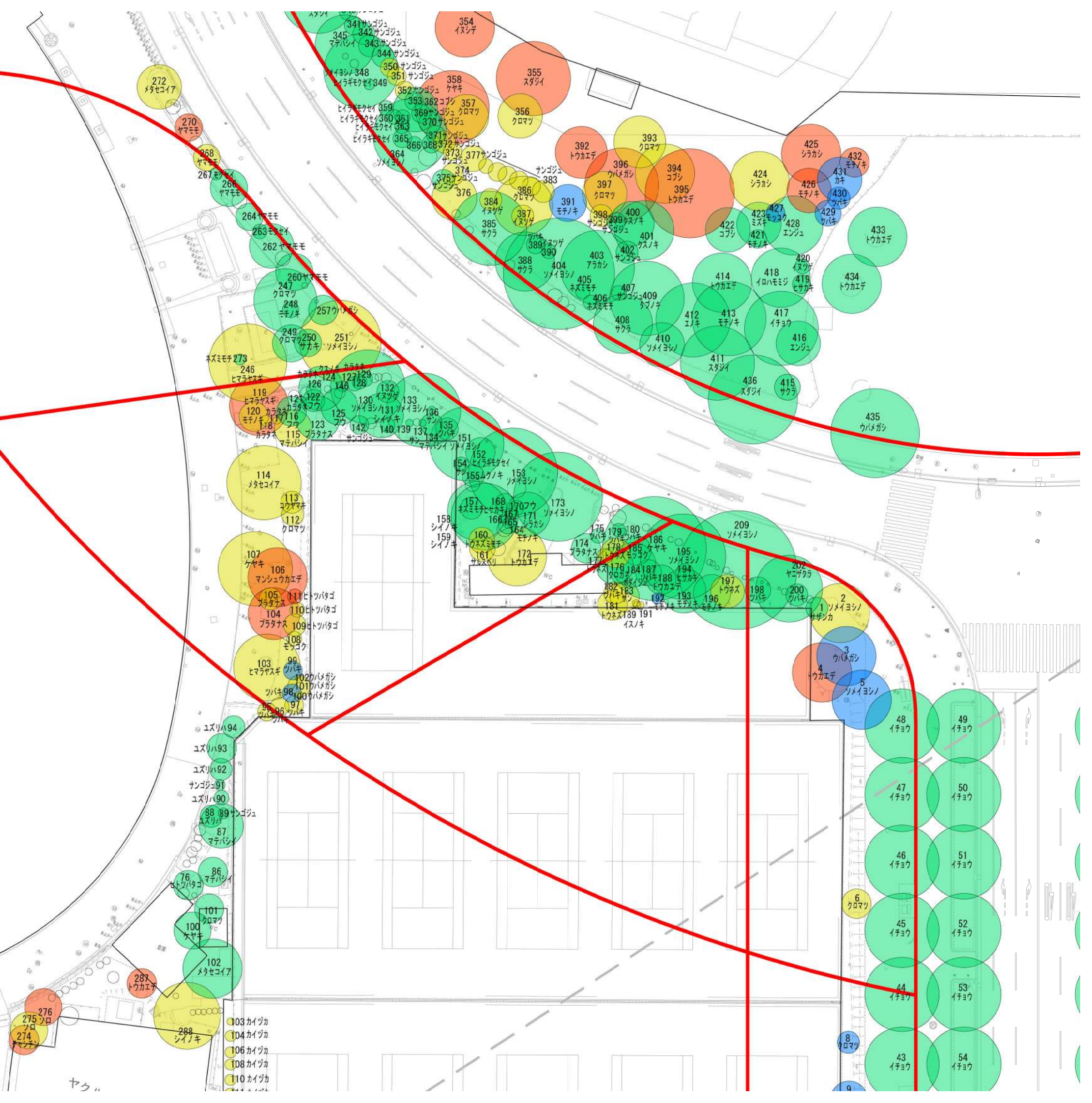


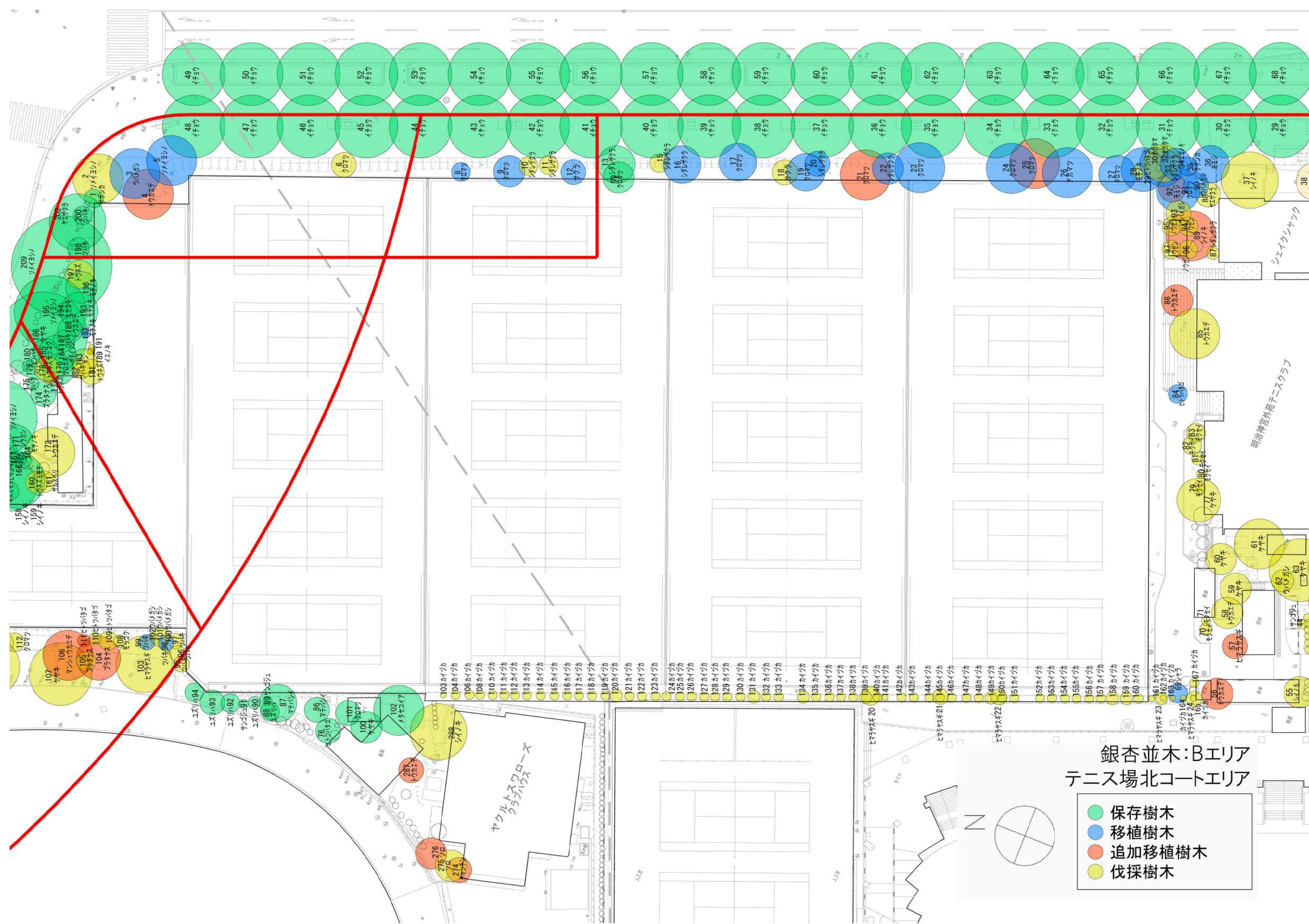


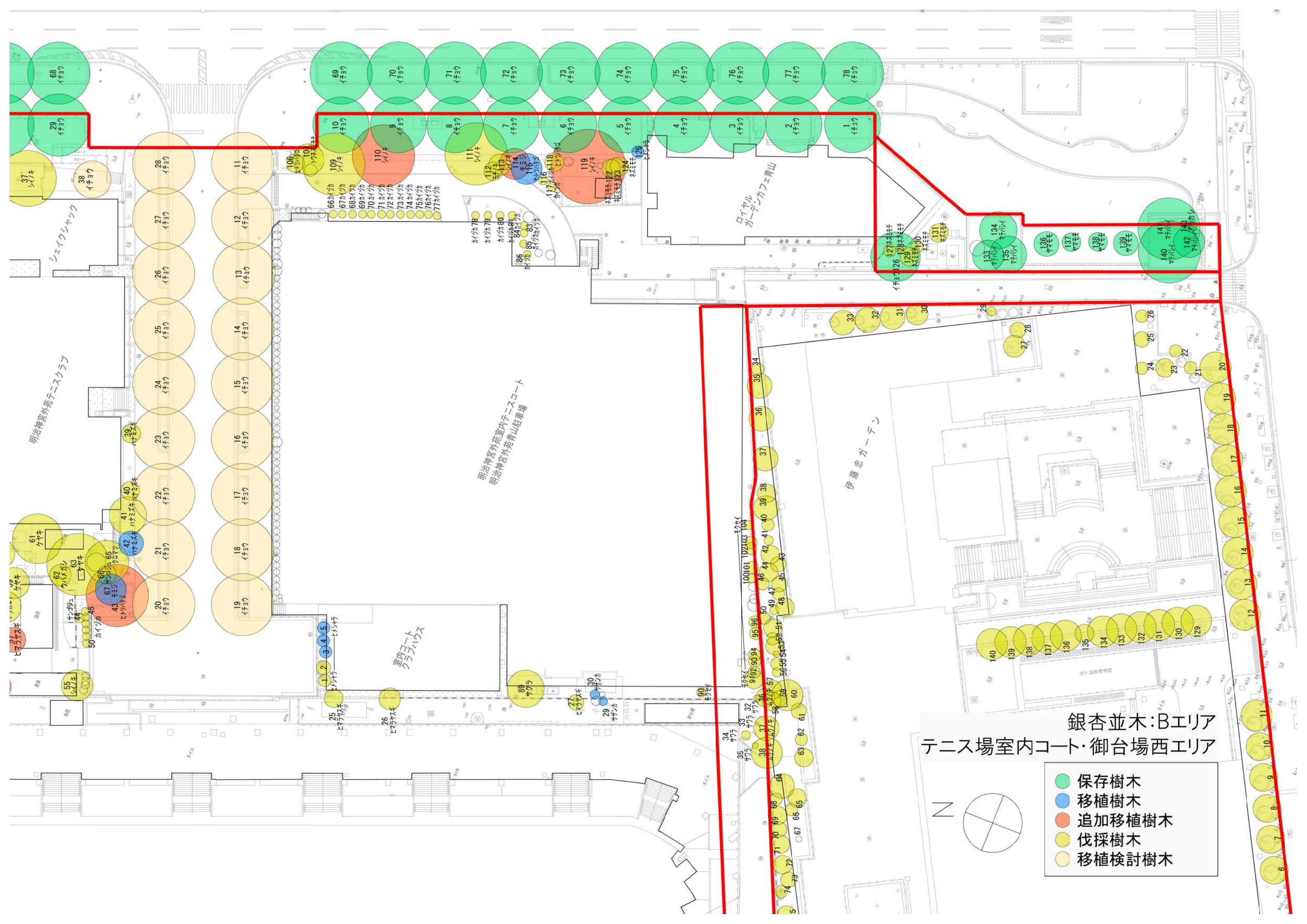


野球場一塁側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



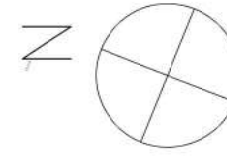




銀杏並木: Bエリア
テニスコート室内コート・御台場西エリア

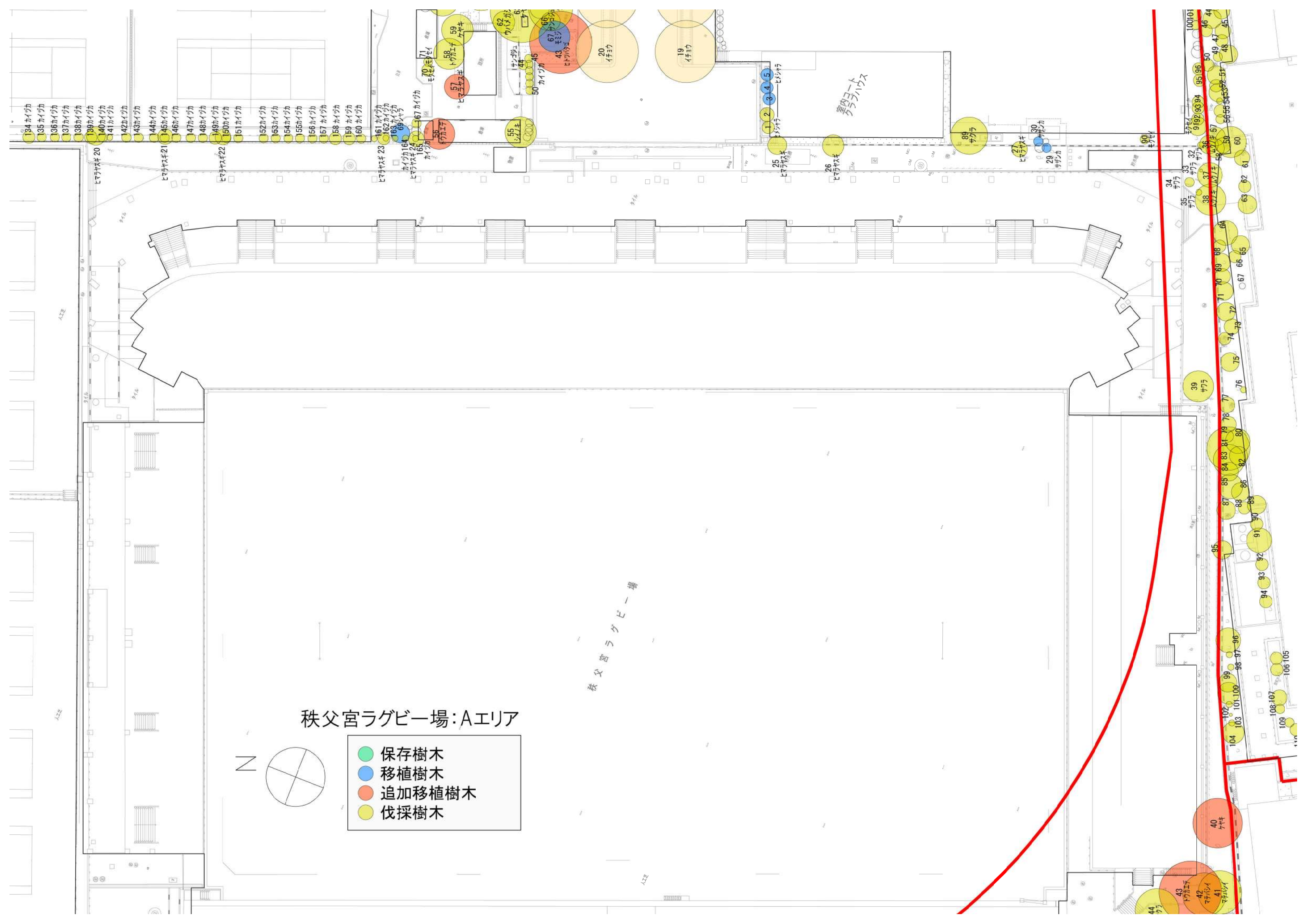
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木
- 移植検討樹木

秩父宮ラグビー場:Aエリア

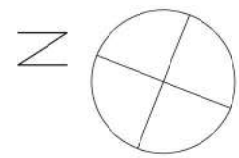


- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木





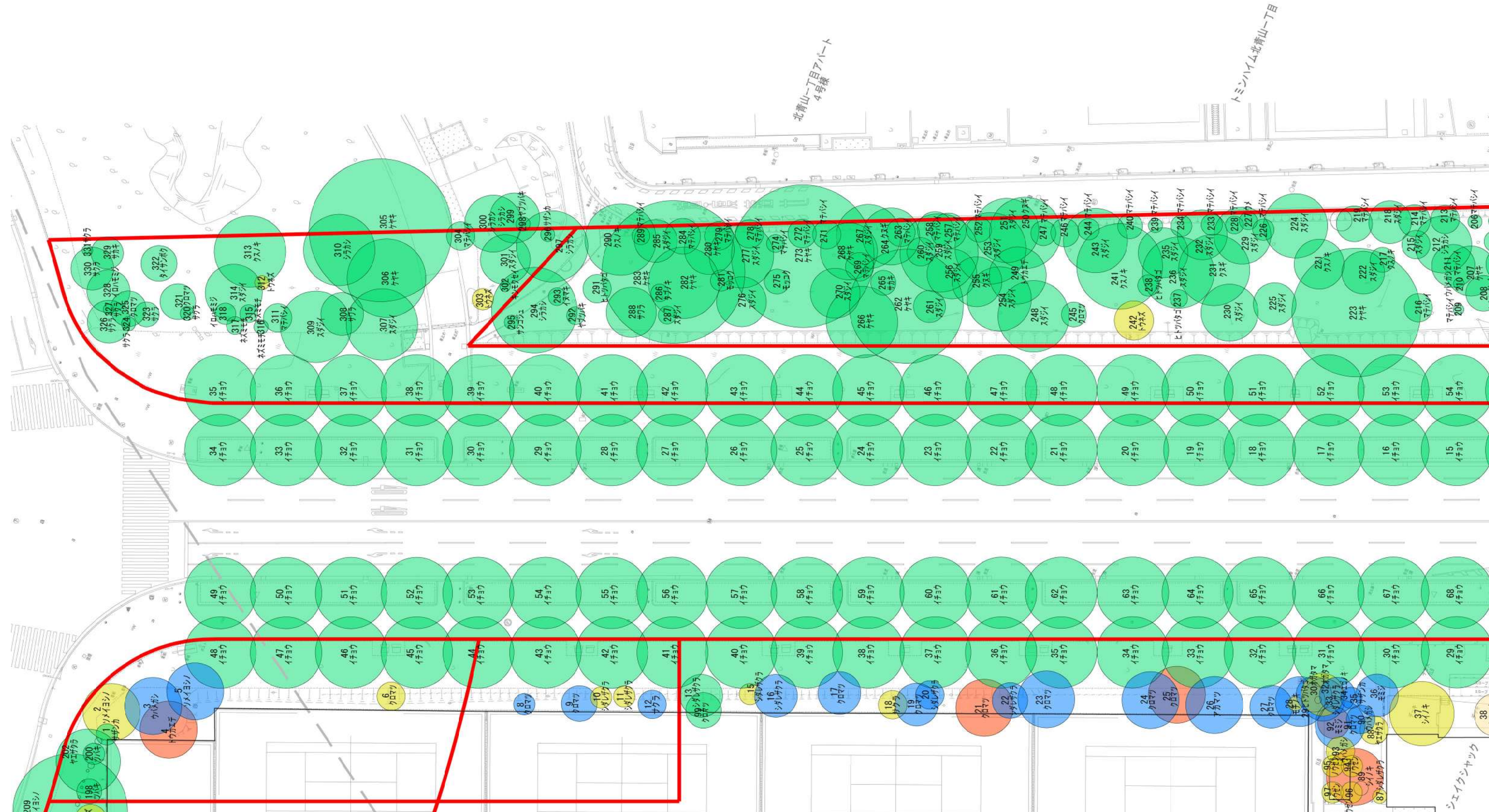
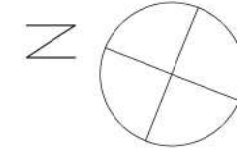
秩父宮ラグビー場：Aエリア



- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

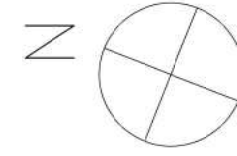
銀杏並木:Bエリア
銀杏並木東:Cエリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木



銀杏並木:Bエリア
銀杏並木東:Cエリア

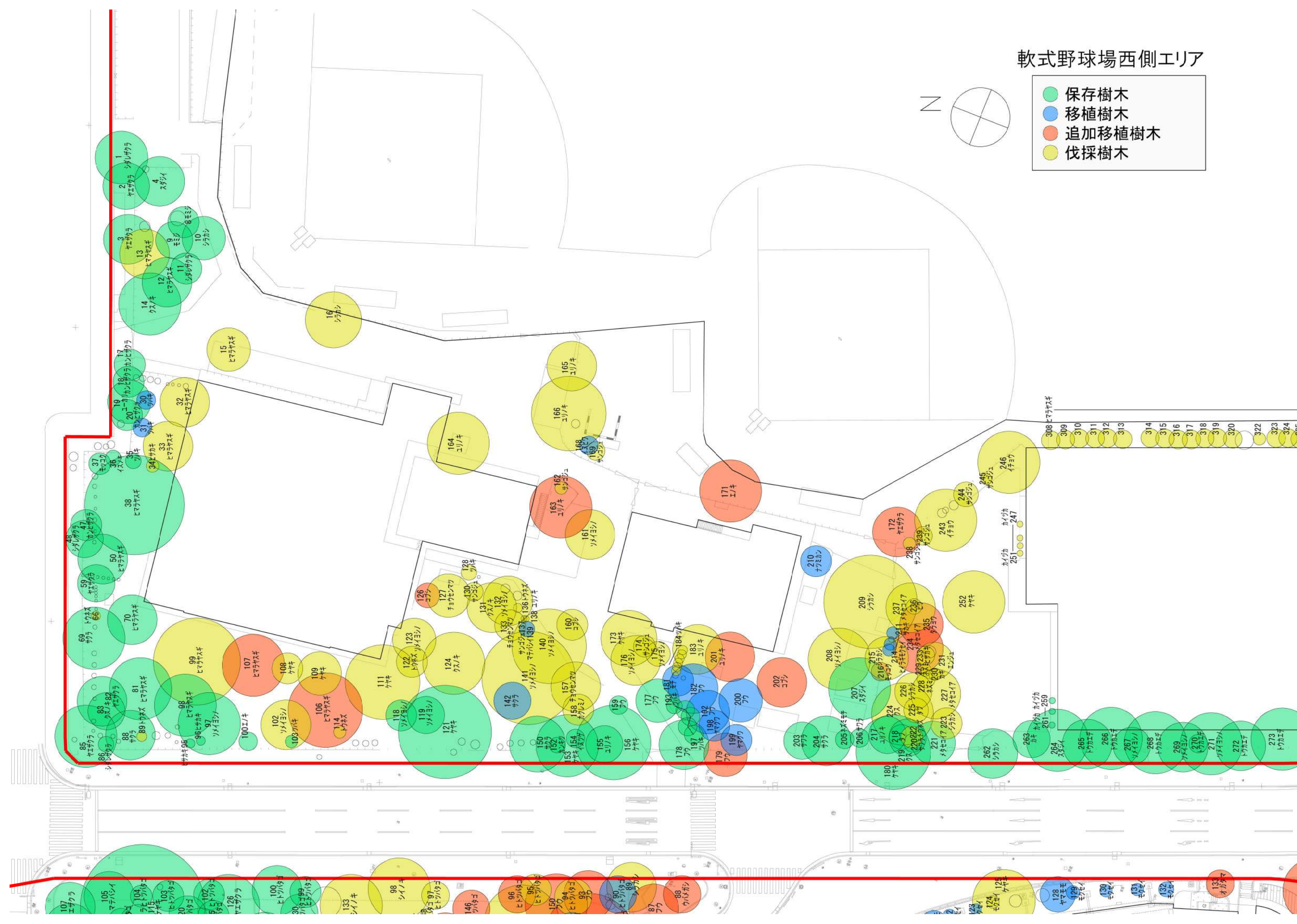
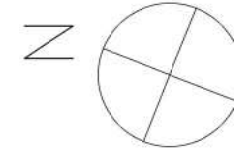
- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

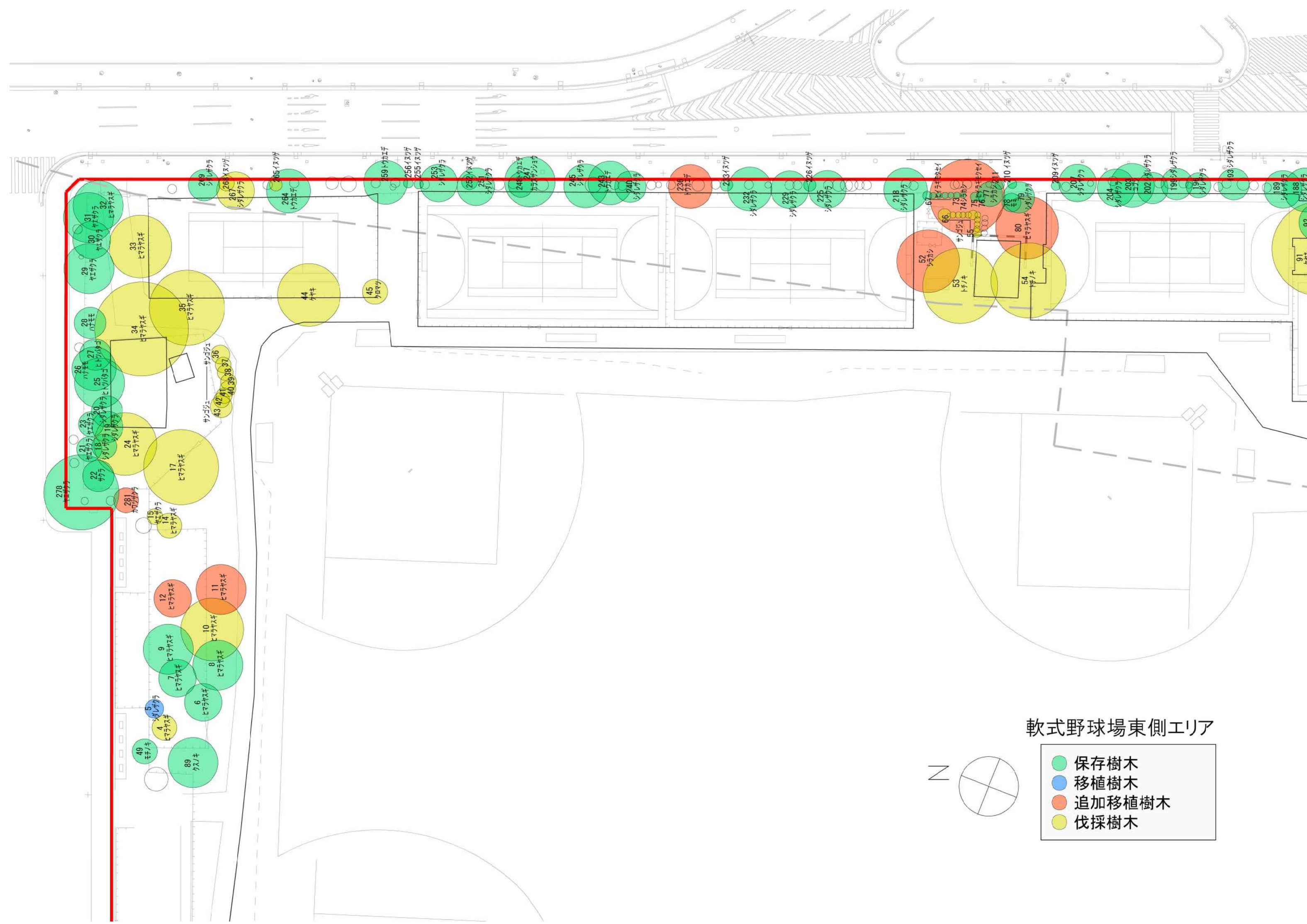




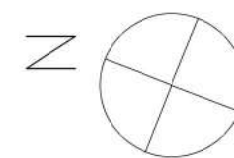
軟式野球場西側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木





軟式野球場東側エリア



- 保存樹木
- 移植樹木
- 追加移植樹木
- 伐採樹木

樹木調査診断

1. 調査の目的

既存樹の活力度や傷害等、外観診断を行い、保存の適否や移植の可否について調査を行った。

2. 調査方法

外観による樹勢・樹形の評価調査と問題となる欠損・腐朽の有無、程度、木槌による幹空洞部分診断、等を外観調査から行う。

樹勢判断には枝の伸長、大枝・幹の欠損、樹皮の代謝、胴吹き・ヒコバエ等を加味して判定する。

枝・大枝・幹の枯損・腐朽は影響がある場合は備考に記載する。(キノコも含める)。

活力度に関する評価項目は下記記載の項目を行った。

3. 調査結果

調査結果を保存の適否と移植の可否、問題点と外観の特徴を記載する。

結果を下記の基準により、結果一覧にまとめた。

規格:高さ・目通り・葉張り

樹木調査診断の説明

葉張り(m)

高さ(m)

幹周(cm)

1.2m

幹周は地上1.2mの高さで計測した幹外周の長さ。
株立ち(1本の樹木で複数の幹がある場合)は地上1.2mの高さでそれぞれの幹外周を計測した。

活力度調査

樹勢・樹形・枝伸長量、大枝・幹の欠損・傷、梢端の枯損、枝葉の密度を1～4で評価(梢端の枯損に幹・大枝枯損も含める)

保存の必要性

活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味する。

移植

移植の可・難・不可について評価する。保存の必要性の高・中に限る。
保存低については移植は不可判定とする。

参考項目

根元構造物の有無は移植評価の参考、片枝樹形(相互被圧含む)項目は樹勢、樹形の参考として記載

備考

外観からの特徴や特筆すべき点を記載する。

活力度：樹勢・樹形等

活力度測定項目	樹勢	1 旺盛な生育状態を示し被害が全く見られない	2 幾分影響を受けているが、あまり目立たない	3 異常が明らかに認められる	4 生育状態が極めて劣悪である		ほとんど枯死
	樹形	1 自然樹形を保っている	2 若干の乱れはあるが自然樹形に近い	3 自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	4 自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している		ほとんど完全に崩壊
	枝伸長量	正常	幾分少ないがそれほど目立たない	枝は短小となり細かい	枝は極度に短小、しょうが状の節間がある		
	大枝・幹の欠損・傷	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり目立つ	著しく目立つ。傷からの腐朽も著しい		
	梢端の枯損	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり多い	著しく多い		
	枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度バランスがとれている	普通、1に比してやや劣る	やや疎	枯れ枝が多く葉の発生が少ない。密度が著しく疎		

活力度の評価は6項目の平均評点を算出記載した。

評価	A	B	C	D
評点	1.00～1.75	1.76～2.50	2.51～3.25	3.26～4.00
状態	両項、正常なもの	普通、正常に近い	悪化のかなり進んだもの	顕著に悪化の進んでいるもの

保存の必要性	高・中・低	活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味し判断する。
移植の評価	可	移植をする際に活着する可能性が高く樹勢、樹形の維持または回復が望める樹木
	難	樹高や目通りが大きく物理的に移植が難しい樹木、または健全に活着することが望めない樹木
	不可	樹木の活力度が低い樹木や、根鉢の適切な確保が難しいなど、移植を試みても健全に活着することが望めない樹木

エリア名					Bエリア: 銀杏並木					調査日					2018 年 12月25日～2019年1月28 日															:追加調査項目											
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名	樹種記号	規 格					活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》						
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝被 圧	剪定・ 対象樹	剪定・ 隣接樹		土壌硬度			土壌硬 度3回 平均		
																								A	B	C															
																																				1～4評価				ABCD	該当に○
保存	移植	伐採																																							
● 該当に ●:変更樹木																																									
101	B	1	落葉	イチョウ		19.0	284	9.0				1.5	1.0	2.5	1.5	1.0	2.0	1.59	A	○				※						有		小						ロイヤルグランドカフェのデッキ内に位置する。 大枝(南側) 2本のH2.5mに、開口空洞あり。 高さH1.5m(北側)に、開口空洞 25×5×15あり。	●		
102	B	2	落葉	イチョウ		21.0	274	9.0				1.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.0	1.67	A	○				※					有		小						レストランの敷地内に位置する。 高さH1.8m(西側)に、打音異常あり。 大枝に、剪定痕からの腐朽が、数か所あり。剪定痕から、幹内部 への腐朽が考えられる。	●			
103	B	3	落葉	イチョウ		21.0	267	9.0				1.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	1.84	B	○				※					有		小						KIHACHIのウッドデッキ内に位置する。 高さH1.8m(南側)に、開口空洞あり。 高さH1.8m(南西側)の大枝に、開口空洞・腐朽あり。 高さH1.8mの大枝(北西側)に、開口空洞・腐朽あり。 他 5本も同様。	●			
104	B	4	落葉	イチョウ		21.0	259	9.0				1.5	2.0	3.0	2.0	1.0	2.0	1.92	B	○				※					有		小						KIHACHIのウッドデッキ内に位置する。 大枝・大枝付根(南側)に、腐朽(大)あり。 打音異常H1.8m～2.0mある。 大枝(西側)に、腐朽(大)あり。 幹H2.0m(西側)に、腐朽(深さ30cm)あり。 精密診断の必要あり。	●			
105	B	5	落葉	イチョウ		21.0	268	9.0				1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.17	A	○				※					有		小						東側の歩道から1.2m、南側の園路から2.0mの位置にある。 樹形・樹勢は良好で、力強さあり。 目立つ腐朽はほぼなし。 縁石が、根元にあり。	●			
106	B	6	落葉	イチョウ		22.0	303	9.0				1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	2.0	1.50	A	○				※					有		小						樹勢は良好で、力強さあり。 目立つ損傷はほぼなく、概ね良好な状態である。 縁石が、根元にあり。	●			
107	B	7	落葉	イチョウ		22.0	231	9.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○				※					有		小						全体的に概ね良好な状態である。 縁石が、根元にあり。	●			
108	B	8	落葉	イチョウ		22.0	230	9.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○				※					有		小						大枝付根(東側)H2.0mに、樹皮欠損あり。 全体的に概ね良好な状態である。 縁石が、根元にあり。	●			
109	B	9	落葉	イチョウ		23.0	231	9.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○				※					有		小						根元(南側)に、開口空洞 15×5×5あり。 全体的に概ね良好な状態である。 縁石が、根元にあり。	●			
110	B	10	落葉	イチョウ		23.0	225	9.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○				※					有		小						大枝付根に、腐朽が、4箇所あり。 全体的に概ね良好な状態である。 縁石が、根元にあり。	●			
111	B	11	落葉	イチョウ		20.0	305	10.0				1.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.0	1.67	A	○									有		小						幅1.5mの狭い植栽帯に根系充滿、根鉢確保困難。幹(北側)に、 亀裂(縦方向に80cm)あり。大枝に、剪定痕からの開口空洞・腐朽 が、数か所あり。 大枝(北側)に、車両接触による樹皮欠損あり。根上りあり。 根元に、				

[illegible]

エリア名					Bエリア: 銀杏並木					調査日					2018 年 12月25日～2019年1月28 日															:追加調査項目												
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名	樹種記号	規 格					活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》							
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝被 圧	剪定・ 対象樹	剪定・ 隣接樹		土壌硬度			土壌硬 度3回 平均			
																								A	B	C										1回目	2回目	3回目		20以上 未満		
1～4評価												ABCD	該当に○			該当に○ ※: 難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満												
137	B	37	落葉	イチョウ		23.0	250	10.0				1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	2.0	1.75	A	○						※						有		小					根元・幹(南東側)に、縦の亀裂、腐朽あり。 H3.0m(西側)に、開口空洞 20×10あり。	●		
138	B	38	落葉	イチョウ		24.0	241	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				樹形・樹勢は概ね良好で、比較的傷が少ない。	●			
139	B	39	落葉	イチョウ		24.0	209	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				大枝付根(北側)に、剪定痕からの腐朽あり。	●			
140	B	40	落葉	イチョウ		24.0	215	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				大枝上部(東側)に、樹皮の腐朽あり。	●			
141	B	41	落葉	イチョウ		24.0	261	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				大枝(東側)に、打音異常あり。	●			
142	B	42	落葉	イチョウ		24.0	250	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				剪定痕からの開口空洞・腐朽(小)があるが、目立たない。	●			
143	B	43	落葉	イチョウ		24.0	258	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				比較的傷が少ない。	●			
144	B	44	落葉	イチョウ		24.0	290	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				大枝上部(西側)に、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。 大枝付根(北側)H4.0mに、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。	●			
145	B	45	落葉	イチョウ		24.0	236	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				比較的傷が少ない。	●			
146	B	46	落葉	イチョウ		24.0	245	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				比較的傷が少ない。	●			
147	B	47	落葉	イチョウ		24.0	248	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				幹上部の高さH15m付近で、東側に屈曲あるが、立ち直り伸長している。 大枝(南側)に、気根が、多数あり。 大枝上部(南側)に、腐朽(約60cm)あり。 大枝上部(北側)に、腐朽(約60cm)あり。	●			
148	B	48	落葉	イチョウ		24.0	243	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○						※						有		小				ひこばえが多数あり。 こぶ状のところに、気根が、多数あり。 比較的傷が少ない。	●			
149	B	49	落葉	イチョウ		24.0	253	10.0		</																																

エリア名					Bエリア: 銀杏並木					調査日					2018 年 12月25日～2019年1月28 日															:追加調査項目										
連番	エリ ア	樹木 番号	常落	樹種名	樹種 記号	規 格					活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝被 圧	剪定・ 対象樹	剪定・ 隣接樹		土壌硬度			土壌硬 度3回 平均	
																								A	B	C										1回目	2回目	3回目		20以上 未満
1～4評価												ABCD	該当に○			該当に○ ※: 葉の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満										
163	B	63	落葉	イチョウ		23.0	198	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小								大枝付根(東側)に、腐朽あり。 (既設の樹木プレート番号: W15)	●		
164	B	64	落葉	イチョウ		23.0	219	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小							幹(西側)に、開口空洞 40×50×20あり。 幹に、打音異常あり。 大枝付根(東側)に、腐朽あり。 縁石が、幹芯から3.4mの距離にある。 (既設の樹木プレート番号: W16)	●			
165	B	65	落葉	イチョウ		23.0	216	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							幹(南側)H3.0mに、開口空洞 10×8あり。 縁石が、幹芯から3.5mの距離にある。 (既設の樹木プレート番号: W17)	●			
166	B	66	落葉	イチョウ		23.0	220	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							巻き根あり。 樹形・樹勢は概ね良好。 (既設の樹木プレート番号: W18)	●			
167	B	67	落葉	イチョウ		23.0	187	10.0				1.5	2.0	1.5	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小							大枝上部(東側)に、腐朽あり。	●			
168	B	68	落葉	イチョウ		23.0	219	10.0				1.5	1.5	2.5	2.0	1.0	2.0	1.75	A	○							有		小							根元・幹(北側)H0.2～2.5mに、縦の亀裂あり。 大枝上部(南側)に、腐朽あり。 根張り良好。	●			
169	B	69	落葉	イチョウ		23.0	246	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							大枝付根(北側)に、開口空洞・腐朽が 3箇所あり。 大枝上部(南側)に、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。 大枝上部(東側)に、剪定痕からの開口空洞・腐朽あり。 縁石が、幹芯から4.2m(北側)の距離にある。	●			
170	B	70	落葉	イチョウ		23.0	210	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							比較的傷が少ない。	●			
171	B	71	落葉	イチョウ		22.0	186	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小							幹H2.5mに、腐朽あり。 高さH1.2m～1.8m(南側)に、開口空洞(大)あり。 大枝上部(北側)に、腐朽あり。	●			
172	B	72	落葉	イチョウ		22.0	209	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							大枝付根(東側)に、剪定痕からの腐朽(大)あり。 縁石が、幹芯から3.7m(南側)の距離にある。	●			
173	B	73	落葉	イチョウ		22.0	205	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							大枝(西側)に、枝抜け痕が 2箇所ある。 縁石が、幹芯から3.5m(北側)の距離にある。	●			
174	B	74	落葉	イチョウ		21.0	232	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							比較的傷が少ない。 根張りが良い。	●			

[illegible]

エリア名						Cエリア：銀杏並木東							調査日				2018年12月25日～2019年1月28日								:追加調査項目																									
連番	エリ ア	樹木 番号	常落	樹種名		規　格					活力度								保存の必要性			移植				関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採										
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	根元 周径 (mm)	根元 徑(D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/15	根元径	根元構造物	根幹部確保	片枝被圧	剪定・対象樹	剪定・隣接樹	土壌硬度						土壌硬 度3回平 均									
																								A	B	C									超大 高	超大 高						有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上未満
																								1～4評価											ABCD	該当に○						該当に○※: 諸の内、保存樹木のため詳細調査対象外			超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無
206	C	28	落葉	イチョウ		24.0	201	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小							大枝(南側)に、開口空洞 10×10あり。 縁石が、幹芯から3.3mの距離にある。	●													
207	C	29	落葉	イチョウ		24.0	264	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小						大枝付根付近(南側)に、開口空洞 16×9×7あり。 大枝(南側)H3.0mに、開口空洞 13×13あり。 大枝(西側)に、開口空洞 22×8×9あり。	●														
208	C	30	落葉	イチョウ		24.0	196	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小						幹(西側)に、開口空洞 37×7×6あり。 幹(東側)に、開口空洞 9×5×15あり。 縁石が、幹芯から2.4m(北側)の距離にある。	●														
209	C	31	落葉	イチョウ		24.0	222	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小						幹(東側)に、開口空洞 53×15×10あり。 大枝付根(東側)に、腐朽 28×10あり。 縁石が、幹芯から2.5m(南側)の距離にある。	●														
210	C	32	落葉	イチョウ		24.0	279	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小						大枝(南側)に、開口空洞 12×10×12あり。 大枝付根(北側)に、開口空洞が 2箇所 11×13×5, 8×5×5あり。 幹(西側)に、大枝剪定痕 40×30あり。	●														
211	C	33	落葉	イチョウ		24.0	239	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.0	1.67	A	○							有		小						大枝(西側)に、剪定痕からの腐朽 60×17あり。 幹(西側)H3.5mに、開口空洞 18×10あり。 大枝付根(東側)に、腐朽 24×14あり。	●														
212	C	34	落葉	イチョウ		24.0	324	10.0				1.5	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	1.42	A	○							有		小						大枝(西側)に、開口空洞 2箇所 12×10, 12×10あり。 大枝(北側)に、開口空洞 90×90あり。 縁石が、幹芯から3.6m(北側)の距離にある。	●														
213	C	35	落葉	イチョウ		24.0	298	10.0				1.5	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	1.42	A	○							有		小						大枝に、剪定痕からの開口空洞 10×10内外が、数か所あり。	●														
214	C	36	落葉	イチョウ		24.0	223	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小						大枝(東側)に、腐朽 80×7あり。	●														
215	C	37	落葉	イチョウ		24.0	243	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小						大枝(南側)に、腐朽 23×10あり。	●														
216	C	38	落葉	イチョウ		24.0	295	10.0				1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A	○							有		小						大枝付根(南側)に、腐朽 50×10あり。 大枝(北側)に、腐朽 23×10あり。 大枝(西側)に、開口空洞 11×8あり。 縁石が、幹芯から1.6m(南側)の距離にある。	●														
217	C	39	落葉	イチョウ		24.0	257	10.0				1.5	1.5	2.0	2.0																																			

[illegible]

エリア名					Cエリア: 銀杏並木東					調査日				2018 年 12月25日～2019年1月28 日														: 追加調査項目											
連番	エリ ア	樹木 番号	常落	樹種名		規 格					活力度						保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝被 圧	剪定・ 対象樹		剪定・ 隣接樹	土壌硬度			土壌硬 度3回 平均
																								A	B	C													
																																				1～4評価			
超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満																													
437	C	259	常緑	スダジイ		15.0	170	11.0					2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.34	B	○							無		大						樹幹傾斜あり。 大枝(東側)に、腐朽(大)あり。	●		
438	C	260	常緑	スダジイ		9.0	129	4.0					2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○						無		大					樹皮欠損が、数か所あり。 胴吹きが、多数あり。	●			
439	C	261	常緑	スダジイ		5.5	104	4.5					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C				○				有		大					樹幹傾斜(大)あり。	●				
440	C	262	落葉	ケヤキ		22.0	319	16.0					2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B	○							有		小					打音異常あり。 中枝(東側)に枯損あり。	●			
441	C	263	常緑	マテバシイ		5.5	60	4.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○						有		大				樹幹傾斜あり。 樹木番号264クスギに近接している。	●				
442	C	264	落葉	クスギ		13.0	151	8.0					2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○						有		中				樹木番号263マテバシイに近接している。	●				
443	C	265	常緑	サカキ		5.0	71	3.5					2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○		○				無		大						●			
444	C	266	落葉	ケヤキ		15.0	156	10.0					2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○						有		中					大枝の剪定痕に、打音異常あり。	●			
445	C	267	常緑	スダジイ		12.0	156	9.0					2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.25	B		○						無		大					樹幹傾斜(小)あり。 根元に、打音異常(小)あり。 枝に、腐朽が散在する。	●			
446	C	268	落葉	ケヤキ		10.0	62	8.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C				○					無		大						●			
447	C	269	常緑	マテバシイ		5.5	38	4.0					2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.34	B		○		○				無		大						●			
448	C	270	常緑	スダジイ		12.0	139	7.0					2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○						無		中					打音異常あり。 北西側に、剪定痕からの腐朽(3×3×23)あり。 大枝下部(西側)に、腐朽あり。	●			
449	C	271	常緑	マテバシイ		7.0	46	4.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.17	B		○						無		大						●			
450	C	272	常緑	マテバシイ		6.0	64	4.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2																				

エリア名					Cエリア: 銀杏並木東										調査日				2018 年 12月25日～2019年1月28 日										:追加調査項目											
連番	エリア	樹木番号	常落	樹種名		規 格					活力度						保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》						
						樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根幹 確保	片枝被 圧	剪定・ 対象樹		剪定・ 隣接樹	土壌硬度				土壌硬 度3回 平均
																								A	B	C										1回目	2回目	3回目	20以上 未満	
																								1～4評価												ABCD	該当に○		該当に○ ※: 置の内の、保存樹木のため詳細調査対象外	
479	C	301	常緑	スダジイ		9.0	118	7.0				2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○					有		大						幹に、剪定痕からの腐朽あり。 大枝付根に、腐朽と、打音異常(小)あり。 根元に、石が埋もれている。						
480	C	302	常緑	キンモクセイ		4.5	31	1.5				2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A		○		○				無		中					やや片枝樹形である。							
481	C	303	常緑	トウネズミモチ		5.5	110	3.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○				無		中						環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。							
482	C	304	常緑	マテバシイ		8.5	71	4.0				2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○					有		中						構造物と、電線に、近接している。							
483	C	305	落葉	ケヤキ		20.0	317	20.0				2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.17	B	○							無		小						大枝に、剪定痕からの腐朽あり。 巻き根あり。 存在感があり、保存価値が高い。						
484	C	306	落葉	ケヤキ		18.0	196	11.0				3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○						無		中						片枝樹形であり、樹幹傾斜(西側)あり。 大枝に、樹皮枯死がり。 大枝に、剪定痕からの腐朽あり。						
485	C	307	常緑	スダジイ		13.0	211	10.0				3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○						無		中						片枝樹形である。 根元に、ツリバリサルノコシカケの子実体が、多数あり。 H1.0m～1.5mに、打音異常(中)あり。 大枝に、剪定痕からの腐朽あり。						
486	C	308	針葉	サワラ		14.0	121	6.0				3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.25	B			○			○			無		中					樹幹傾斜(大)(東側)あり。 開口空洞 40×6(152)×22/40(芯達)、打音異常(大)あり。 支柱設置、もしくは撤去検討の必要性あり。						
487	C	309	常緑	スダジイ		12.0	202	10.0				2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	2.09	B		○						無		小						大枝に、剪定痕からの腐朽あり。 打音異常(小)あり。 電線に接触している。						
488	C	310	常緑	シラカシ		17.0	152	10.0				2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.09	B		○						無		小						片枝樹形である。 幹に、樹皮欠損・腐朽(16×11)あり。						
489	C	311	常緑	マテバシイ		6.0	79	4.0				3.0	2.5	4.0	3.0	2.5	2.92	C			○			○			無		中					断幹により、樹冠上部の樹形に乱れあり。 幹の上部から中部にかけて、胴枯症状と、腐朽あり。						
490	C	312	常緑	トウネズミモチ		4.5	27	2.0				2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A			○			○			無		小					環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。						
491	C	313	常緑	クスノキ		15.0	221	10.0				2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.34	B		○						無		小						幹に、打音異常(小)あり。						
492	C	314	常緑	スダジイ		15.0	171	8.0				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○						無		中						樹幹傾斜(小)(西側)あり。 下枝に、樹皮欠損・腐朽あり。						
493																																								

[illegible]

[illegible]

エリア名				野球場三塁側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月21日～2022年4月21日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目																	
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》								
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹		剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均			
																							A	B	C										1～4評価	ABCD	該当に○		該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外		
41	Y01-041		シイノキ	8.0	182	6.0		2.01	0.64	2.56	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○				○		高	大	有	×	小	—	—	—	—	—	—	幹芯から万年堀までの離隔距離0.4m。適正根鉢確保困難。 樹形に乱れあり(樹冠に道路側への大きな偏り)。 幹H3mにコブキサルノコシカケあり。幹H4.5mに開口空洞あり。			●
42	Y01-042		ケヤキ	14.0	252	8.0		2.89	0.92	3.68	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○			○		大	超	有	×	無	—	—	—	—	—	—	幹芯から万年堀までの離隔距離1.7m。 大枝に剪定痕が多数あり。 強剪定萌芽樹で不適。			●	
43	Y01-043		シイノキ	10.0	204	6.0		2.11	0.67	2.69	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○			○		高	大	有	×	無	—	—	—	—	—	—	幹芯から土留めまでの離隔距離1.4m。 樹形に乱れあり不適(樹冠に道路側への大きな偏り、樹幹傾斜)。 幹H3mにコブキサルノコシカケあり。幹H4.5mに開口空洞あり。			●	
44	Y01-044		シイノキ	10.0	250	5.0					2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○			○				有		小						根元・幹H0.0m～0.7mに、腐朽(大)、銅棒貫入異常、打音異常あり。 枯枝φ27cm,L=4.5mあり。 土留め壁が、根元にあり。	●				
45	Y01-045		イヌツゲ	4.5	2本立	3.0	33,18				2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○		○					無		中					幹H1.5mに、開口空洞(小)、巻込みあり。	●					
47	Y01-047		シイノキ	10.0	96	3.0					2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.25	B			○			○				有		大					根元に、開口空洞(中)、打音異常あり。 片枝樹形である。 土留め壁が、根元にあり。	●					
48	Y01-048		シイノキ	10.0	172	6.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○			※				有		小					大枝に、樹皮欠損(中)が、多数あり。 コンクリート基礎が、根元にあり。	●					
49	Y01-049		シイノキ	10.0	169	5.0		2.2	0.7	2.8	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B			○			○		高	大	有	×	無	—	—	—	—	—	—	幹芯から看板基礎までの離隔距離0.9m、歩車道縁石までの離隔距離0.9m。適正根鉢確保困難。			●	
50	Y01-050		イチヨウ	12.0	392	4.0					2.5	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.34	B			○			○				有		無					幹H0.7m～1.8mに、開口空洞(大)が、3箇所、打音異常あり。 縁石が、根元にあり。根鉢の確保が難しい。			●			
51	Y01-051		ケヤキ	16.0	266	6.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.20	B			○			○				有		無					露出根あり。 警備室が、近接している。根鉢の確保が難しい。	●					
52	Y01-052		シイノキ	14.0	130	6.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○		○					無		小					根元・幹に、打音異常H0.0m～0.8mあり。	●					
53	Y01-053		イチヨウ	16.0	275	6.0		3.19	1.02	4.06	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.																								

既存樹木調査結果一覧

エリア名				野球場三塁側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月21日～2022年4月21日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)																:追加調査項目						
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活 力 度								保存の必要性			移植				関連項目												備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均		
																							A	B	C														
																							1～4評価											ABCD		該当に○			※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外
72	Y01-072		ケヤキ	20.0	280	8.0		3.22	1.03	4.1	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.17	B		○			○		超	超	有	×	無	—	—	—	—	—	—	大枝H7mに開口空洞あり。 幹芯から万年堀までの離隔距離1.4m、土留めまでの離隔距離2.3m。大きな柱に近接。			●
83	Y01-083		ソロ	17.0	145	9.0		2.11	0.67	2.69	1.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○			○		超	大	有	×	無	—	—	—	—	—	—	根元・幹に開口空洞あり。 幹芯から万年堀までの離隔距離0.8m、土留めまでの離隔距離2.2m。適正根鉢確保困難。			●

エリア名				野球場一塁側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月20日～2022年4月21日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)													:追加調査項目										
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》							
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象樹		剪定・ 隣接樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均		
																							A	B	C										1回目	2回目	3回目		20以上 未満	
								1～4評価				ABCD		該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のための詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満									
1	Y02-001		シイノキ	15.0	232	10.0							2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.09	B		○				※						有		小						根元・幹に、打音異常 H0.0m～2.0mあり。 コンクリートブロックの植栽帯内に、位置する。
2	Y02-002		イスノキ	6.0	91	4.0							2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○				※					有		小					枯枝が、数か所あり。 コンクリートブロックの植栽帯内に、位置する。		
3	Y02-003		カイツカイブキ	3.0	26	1.0							4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	3.92	D			○			※					有		大					樹形・樹勢が、悪い。 電源盤に、近接している。 コンクリートブロックの植栽帯内に、位置する。		
4	Y02-004		カイツカイブキ	3.0	30	1.0							3.5	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	3.09	C			○			※					有		大					コンクリートブロックの植栽帯内に、位置する。		
6	Y02-006		カイツカイブキ	3.0	29	1.0							3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○			※					有		中					電源盤に、近接している。 コンクリートブロックの植栽帯内に、位置する。		
7	Y02-007		カイツカイブキ	3.0	33	1.0							3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.92	C			○			※					有		中							
8	Y02-008		カイツカイブキ	3.0	30	1.0							3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○			※					有		中							
9	Y02-009		カイツカイブキ	3.0	29	1.0							3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.92	C			○			※					有		中							
10	Y02-010		カイツカイブキ	3.0	30	1.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○				※					有		中					電源盤に、近接している。 樹木番号Y02-11ケヤキに、近接している。		
11	Y02-011		ケヤキ	20.0	249	10.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.34	B	○					※					有		小					ぶつ切り剪定、スタブカットが散見され、腐朽あり。 高さH1.5mで、3本に分岐している。		
13	Y02-013		カイツカイブキ	3.0	28	1.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○			※					有		中					照明に、近接している。		
14	Y02-014		カイツカイブキ	3.0	30	1.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○			※					有		中							
15	Y02-015		カイツカイブキ	3.0	31	1.0							2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○			※					有		中							
16	Y02-016		カイツカイブキ	3.0	29	1.0							2.5																											

エリア名				野球場一塁側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月20日～2022年4月21日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目													
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》							
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹		剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均		
																							A	B	C										1～4評価	ABCD	該当に○		該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外	超大 高
106	Y02-106		マンシュウイタ ヤカエデ	9.0	2本立	8.0	143,133	2.07	0.66	2.64	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○			○			高	大	有	○	無	無	無	8	12	13	11.0	幹H3mに、樹皮欠損(20cm×12cm、巻き込み中)あり。 幹芯からマンホールまでの離隔距離1.2m。樹幹傾斜があるが、太い 双幹樹であり個性的で珍しい。擁壁壊し根鉢確保可能。			
107	Y02-107		ケヤキ	18.0	206	10.0		2.35	0.75	2.99	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○			○		超	大	有	×	—	—	—	—	—	—	ブロック、舗装近接。 適正根鉢確保困難。			●	
108	Y02-108		モッコク	3.5	3本立	2.0	42,34,30	0.93	0.3	1.18	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○			○		高	高			—	—	—	—	—	—	根元が駐車場土留めと接触、アスファルト押し上げあり。 移植樹として不適である。			●	
109	Y02-109		ヒトツバタゴ	5.0	32	3.0		0.4	0.13	0.51	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○			○		高	高			—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり、移植樹として不適である。			●	
110	Y02-110		ヒトツバタゴ	5.0	29	2.0		0.36	0.11	0.46	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○			○		高	高			—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり、移植樹として不適である。			●	
111	Y02-111		ヒトツバタゴ	6.0	60	2.0		0.71	0.23	0.9	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.59	C		○			○		高	高	無	○	無	無	無	11	2	5	6.0	樹形良好、維持可能。		●	●	
112	Y02-112		クロマツ	10.0	93	3.0		1.19	0.38	1.52	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B			○			○		高	高			—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり(H10mまで下枝なし)、移植樹として不適である。			●	
113	Y02-113		コーヤマキ	6.5	54	3.0					3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D			○			○				有		大					双幹の一方が、断幹されている。 幹H3.0mに樹皮欠損100×10あり。 幹に樹皮欠損多数あり。 幹全体におよぶ腐朽が大きく、下枝が高く、枝葉量が少ない。			●		
114	Y02-114		メタセコイア	15.0	253	10.0		3.55	1.13	4.52	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○			○		超	超	有	×		—	—	—	—	—	—	舗装に囲まれ、適正根鉢確保困難。			●
115	Y02-115		マテバシイ	10.0	90	5.0		1.06	0.34	1.35	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.17	B			○			○		高	高			—	—	—	—	—	—	樹形に乱れあり(樹幹傾斜)、移植樹として不適である。			●	
116	Y02-116		フウ	14.0	139	4.0					2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B		○			※					有		大					幹H1.2mに、断幹痕からの開口空洞 20×12×20あり。 深植え状態にある。 LPガス警報器に、近接している。	●				
117	Y02-117		カラタネオガタマ(モ チノキ変異)	3.0	2本立	1.0	15,20	0.32	0.1	0.41	2.5																													

既存樹木調査結果一覧

エリア名				第二球場						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月19日～2022年4月20日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)												:追加調査項目																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹					土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均
																							A	B	C																
																							1～4評価															ABCD	該当に○		
132	YG-132		モクセイ	3.2	根元 115	2.4					2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.34	B		○		○					有		無								コンクリート土留め板が、根元にあり。		●		
133	YG-133		カラタネオガタ マ	4.5	5本立	4.5	34,22,34, 40,62	1.11	0.35	1.41	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○				高	高	無	○	無	無	無	2	4	2	2.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.0m、擁壁までの離隔 距離1.1m。ぎりぎり根鉢確保可能。 枝張り大きく、樹形は良好である。		●		
134	YG-134		ケヤキ	12.0	227	10.5		2.62	0.83	3.34	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○			○			高	超	有	○	無	無	無	9	11	13	11.0	根元に笹とツツジ類あり。 樹形に乱れ(強剪定後の萌芽樹形)や剪定痕が目立つが樹高低く、 場内移植ならば可。		●		
135	YG-135		ヤマモモ	8.0	88	4.2		1.09	0.35	1.39	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.50	B		○		○				高	高	有	○	小	小	無	6	3	6	5.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.4m。 樹形維持、根鉢確保可能。		●		
136	YG-136		モクセイ	3.2	根元107	1.6		1.09	0.35	1.39	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	4	3	3	3.3	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。樹形良好。		●		
137	YG-137		ヤマモモ	9.0	122	4.5		1.36	0.43	1.73	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	3	5	6	4.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。 大枝付け根に開口空洞あり。 根鉢確保、樹形維持可能。		●		
138	YG-138		モクセイ	3.2	根元 99	1.6		1.12	0.36	1.43	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B			○			○		高	高	有	○	無	－	－	－	－	－	－	－	幹芯から看板基礎までの離隔距離0.7m。 看板裏面樹形に乱れ。不適。			●
139	YG-139		モクセイ	3.1	根元 120	2.0		1.07	0.34	1.36	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	4	3	5	4.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.3m。 樹形良好。		●		
140	YG-140		ヤマモモ	7.0	119	5.1		1.39	0.44	1.77	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.42	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	8	10	8	8.7	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.5m(球 場側)。 幹に開口空洞あり、巻き込み良好。大枝に腐朽、回復傾向。 樹形維持、回復可能。		●		
141	YG-141		モクセイ	3.1	根元 98	1.5		1.12	0.36	1.43	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B			○			○		高	高	有	○	無	－	－	－	－	－	－	－	樹形不良。			●
142	YG-142		ヤマモモ	6.0	97	3.2		1.15	0.37	1.46	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.34	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	4	8	6	6.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.5m(球 場側)。 樹形良好。		●		
143	YG-143		モクセイ	3.0	根元 93	2.1		0.92	0.29	1.17	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.25	B		○		○				高	高	有	○	無	無	無	6	3	3	4.0	幹芯からコンクリート土留めまでの離隔距離1.2m(車道側)、1.2m(球 場側)、電灯基礎までの離隔距離1.3m。 樹形良好。		●		
144	YG-144		ケヤキ	12.5	235	11.2		2.72	0.87	3.46	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○			○		高	超	有	×	無	－	－	－	－	－	－	－	幹芯から植栽帯縁石までの離隔距離2.1m。電灯基礎あり。 強剪定、萌芽樹でケヤキらしさない。 掘取り作業域確保困難。			●
145	YG-145		ケヤキ	12.5	258	11.1		3.22	1.03	4.1	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○			○		高	超	有	×	無	－	－	－	－	－	－	－	幹芯から電灯基礎(2か所)までの離隔距離1.8m、植栽帯縁石までの 離隔距離2.2m。 強剪定・萌芽樹でケヤキらしさない。根鉢確保困難。			●
146	YG-146		ケヤキ	12.5	245	9.8					2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.50	B			○				○			有		小							根元・幹に、腐朽(大) H0.0m～0.7mあり。 高さH0.5mに、コフキサルノコシカケの子実体あり。 根元・幹に、打音異常あり。 コンクリート土留め板が、根元にあり。			●	
147	YG-147		ケヤキ	12.5	286	11.8		3.28	1.04	4.18	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.17	B			○			○		高	超	有	×	無	－	－	－	－	－	－	－	強剪定後の剪定痕が目立つ。 強剪定・萌芽樹でケヤキらしさない。 建物に近接している。根鉢確保困難。			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名				テニスコート北コート						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月9日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)															:追加調査項目																										
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活 力 度								保存の必要性			移植				関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》																				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均																	
											1～4評価						ABCD		該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外											1回目	2回目	3回目	20以上 未満																		
145	T01-145		カイヅカイブキ	4.0	38	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
146	T01-146		カイヅカイブキ	4.0	39	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
147	T01-147		カイヅカイブキ	4.0	38	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
148	T01-148		カイヅカイブキ	4.0	40	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
149	T01-149		カイヅカイブキ	4.0	36	2.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
150	T01-150		カイヅカイブキ	4.0	42	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
151	T01-151		カイヅカイブキ	4.0	37	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
152	T01-152		カイヅカイブキ	4.0	37	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
153	T01-153		カイヅカイブキ	4.0	38	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
154	T01-154		カイヅカイブキ	4.0	38	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
155	T01-155		カイヅカイブキ	4.0	43	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
156	T01-156		カイヅカイブキ	4.0	40	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
157	T01-157		カイヅカイブキ	4.0	40	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
158	T01-158		カイヅカイブキ	4.0	42	2.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
159	T01-159		カイヅカイブキ	4.0	36	2.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
160	T01-160		カイヅカイブキ	4.0	36	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
161	T01-161		カイヅカイブキ	3.5	33	1.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
162	T01-162		カイヅカイブキ	3.5	29	1.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
163	T01-163		カイヅカイブキ	3.5	25	1.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
164	T01-164		カイヅカイブキ	3.0	25	1.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
165	T01-165		カイヅカイブキ	3.0	19	1.0					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													
167	T01-167		カイヅカイブキ	3.0	26	1.5					2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B				○					○			有		中						刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、緑石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。			●													

既存樹木調査結果一覧

エリア名				テニス場室内コート・御台場西 (T02-126以降)								調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年5月9日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)														:追加調査項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹					土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																							A	B	C												不可	1～4評価	ABCD		該当に○	※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外										超大 高	超大 高	有無	○×	大中 小無	大中 小無	大中 小無	1回目	2回目	3回目	20以上 未済																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

エリア名				建国記念文庫						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月18日～2022年4月19日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)												:追加調査項目													
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》						
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧		剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平均
																							A	B	C										1～4評価	ABCD	該当に○	
68	KE-068		シダレザクラ	10.0	113	5.0					3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	3.0	2.59	C			○				○			有	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満	骨格を成す大枝が、少ない。 根上り(中)あり。 舗装が、1.0m(東側)の距離にある。	
69	KE-069		シダレザクラ	5.0	46	3.0					4.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.84	C			○				○			無			中					高さH2.2mにて、断幹されている。		
70	KE-070		シダレザクラ	5.0	81	3.0					4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.17	C			○				○			無			大					高さH2.2mにて、断幹されている。 樹形が、崩壊している。		
71	KE-071		ヒトツバタゴ	4.0	23	4.0					2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.42	B			○				○			無			大					下枝がない。		
72	KE-072		ケヤキ	20.0	340	20.0					2.0	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○						○			有			中					樹木番号KE-073ケヤキに、近接しており、移植不可である。 根上り(大)あり。		
73	KE-073		ケヤキ	10.0	152	10.0					2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.84	B	○						○			有			中					樹木番号KE-072ケヤキに、近接しており、移植不可である。		
74	KE-074		ヤエザクラ	10.0	129	8.0					3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○				○			有			小					樹木番号KE-075ヤエザクラに、近接しており、移植不可である。 フェンスが、0.3m(南側)の距離にある。		
75	KE-075		ヤエザクラ	8.0	108	8.0					3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○				○			有			小					樹木番号KE-074ヤエザクラに、近接しており、移植不可である。 大枝に、剪定痕からの腐朽 30×30あり。		
76	KE-076		ヤエザクラ	10.0	138	8.0					3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.42	B			○				○			有			小					大枝に、剪定痕からの腐朽 20×20あり。 チャアナタケモドキの子実体あり。 フェンスが、1.3m(南側)の距離にある。		
77	KE-077		ヤエザクラ	12.0	2本立	10.0	102,116				3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○				○			有			中					樹幹傾斜(大)(北側)あり。 双幹の一方が、高さH3.0mにて、断幹されている。		
78	KE-078		ヤエザクラ	5.0	51	4.5					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○					※			有			大					樹幹傾斜(大)(北側)あり。		
79	KE-079		ヤエザクラ	8.0	130	8.0					3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○				○			有			大					樹幹傾斜(大)(北側)あり。 根元が、フェンスにくい込んでいる。		
80	KE-080		ヤエザクラ	8.0	83	8.0					3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○				○			有			大					樹幹傾斜(大)(北側)あり。 フェンスが、1.0m(北側)の距離にある。		
81	KE-081		ヤエザクラ	8.0	126	8.0			</																													

エリア名				軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目																			
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹					剪定・ 隣接 樹	土壌硬度				土壌 硬度3 回平 均
																							A	B	C													1～4評価	ABCD	該当に○	該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外	
102	N02-102		ソメイヨシノ	10.0	203	8.0					3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.50	B			○						無		中							幹に、コフキタケの子実体あり。 幹に、打音異常(大) H0.8mあり。 大枝剪定痕からの腐朽(大) 120×25、腐朽(中) 20×20あり。 樹木番号N02-106ヒマラヤシーダーからの、被圧(中)あり。 フェンスが、近接している。			●			
103	N02-103		ツバキ	4.0	46	2.0					2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A		○						有		無							フェンスが、近接している。	●						
106	N02-106		ヒマラヤシーダー	20.0	270	12.0		3.46	1.1	4.41	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○							○		小	無	無	2	16	8	8.7	大木であるが、H12mでの剪定も可能であり、 場内移動でのチャレンジ移植は可能である。		●					
107	N02-107		ヒマラヤシーダー	20.0	266	10.0		2.94	0.94	3.75	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○							○		小	無	無	16	13	13	14.0	大木であり、H8mまで下枝は無いが、H18m程度での剪定かつ 場内移動であればチャレンジ移植は可能である(H12mでの切断 は樹形崩壊を招く)。		●					
108	N02-108		ケヤキ	20.0	157	5.0		1.94	0.62	2.47	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.5	1.67	A			○					○		大	－	－	－	－	－	－	被圧からの枯損部分剪定により大枝が剪定されている。 樹形不良。不適。 幹芯からネットまでの離隔距離0.9m。			●				
109	N02-109		ケヤキ	20.0	217	7.0		2.5	0.8	3.18	3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	1.5	2.34	B			○					○		中	－	－	－	－	－	－	樹形に乱れあり(強剪定後の枝吹き状態)、樹形不良。不適。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.7m。			●				
111	N02-111		ケヤキ	20.0	237	12.0		2.8	0.89	3.57	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○					○		無	－	－	－	－	－	－	下枝が高く枝数が少ない。 移植に向けた剪定に適していない。不適。			●				
114	N02-114		トウネズミモチ	3.0	42	2.0					3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.75	A		○		○					無		小					樹冠上部に、剪定による徒長枝が見られる。 樹木番号N02-106ヒマラヤシーダーからの、被圧(小)あり。 環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●					
118	N02-118		ソメイヨシノ	7.0	32	5.0					1.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.25	A	○								無		無					新植である。	●							
119	N02-119		ソメイヨシノ	7.0	34	6.0					1.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.25	A	○								無		無					新植である。	●							
121	N02-121		ケヤキ	20.0	263	15.0					1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○								無		無					幹に、開口空洞 10×5×30/70あり。 根元・幹に、打音異常(中) H0.1m～1.2mあり。	●							
122	N02-122		トウネズミモチ	7.0	3本立	5.0	36,26,19				2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.92	B			○						無		小					大枝剪定痕からの腐朽あり								

エリア名				軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載：追加詳細調査対象樹木(436本)								:追加調査項目																					
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採							
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元徑	根元構 造物	根鉢確 保	片枝被 圧					剪定・ 対象樹	剪定・ 隣接樹	土壌硬度				土壌 硬度3 回平 均
																							A	B	C													1回目	2回目	3回目	20以上 未満	
該当に○																			該当に○ ※：難の内、保存樹木のための詳細調査対象外																							
1～4評価																			ABCD		該当に○																					
142	N02-142		サクラ	8.0	38	6.0					1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.34	A	○			○						無	×	小						樹木番号N02-140ソメイシノからの、被圧あり。 枝折れ痕φ6cmあり。			●			
150	N02-150		サクラ	10.0	111	9.0					2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○				-				有		小					車道側が、ぶつ切り剪定されている。 樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
152	N02-152		カンキツ	3.5	36	2.5					2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A		○			-				有		小					葉に、食害痕が、多数あり。 樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
153	N02-153		ケヤキ	20.0	210	10.0					1.5	1.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.84	B		○			-				有		無					根元・幹に、打音異常(大) H0.0m～2.0mあり。 大枝付け根に、開口空洞 25×10×25/70あり。また空洞が、根 元まで続いている。 フェンスが、近接している。			●					
154	N02-154		イヌツゲ	3.5	2本立	3.0	36,38				2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.25	A			○						無		無					樹木番号N02-153ケヤキに、近接している。			●					
155	N02-155		ユリノキ	10.0	79	6.0					2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.92	B			○						有		中					樹木番号N02-153ケヤキからの、被圧あり。 フェンスが、近接している。			●					
156	N02-156		ケヤキ	20.0	251	12.0					1.5	1.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.75	A	○				-				有		無					大枝剪定痕からの腐朽があるが、巻込みつつある。 フェンスが、近接している。			●					
157	N02-157		チョウセンマツ	18.0	151	8.0					3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	3.0	2.59	C			○						無		無					中央部・下部で、大枝が切除され、枝数が少ない。			●					
158	N02-158		カクレミノ	4.0	2本立	5.0	35,44				2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	3.0	2.59	C			○						無		小					根元・幹に、打音異常(中) H0.2m～0.7mあり。 根元に、樹皮欠損・腐朽 5×4あり。 枯れ枝 φ4cm,L=0.7mあり。			●					
159	N02-159		フウ	12.0	111	3.0					2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.42	B			○						有		無					幹に、開口空洞 5×5×5/40あり。 根元、アスファルトの、押し上げ(小)あり。 舗装に、近接している。			●					
160	N02-160		コブシ	10.0	108	5.0					2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.25	B			○						有		中					樹木番号N02-140ソメイシノからの、被圧あり。 片枝樹形である。 露出根あり。 縁石の、押し上げ(大)あり。 植樹内に位置する。			●					
161	N02-161		ソメイヨシノ	10.0	2本立	8.0	220,195	3.39	1.08	4.32	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.25	B			○			○		高	超	有	×	小	—	—	—	—	—	根元周囲が舗装されている。適正根鉢確保困難。 樹形に乱れあり(幹に屈曲、梢端枯れ)。			●			
162	N02-162		サンゴジュ	4.																																						

エリア名				軟式野球場西側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目															
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度										保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元構 造物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度					土壌 硬度3 回平 均			
																							A	B	C									1回目						2回目	3回目	20以上 未満
										1～4評価				ABCD		該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中 小無	大中 小無	大中 小無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満									
176	N02-176		ソメイヨシノ	13.0	143	8.0							3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○						無		中						根元に、コフキタケの子実体、ベッコウタケの子実体あり。 幹に、樹皮欠損(小) 20×10あり。 大枝に、剪定痕からの樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。 片枝樹形である。			●		
177	N02-177		フウ	15.0	127	7.0							2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.67	A			○					有		無						中央部・下部で、大枝の枝数が少ない。 舗装に、近接している。	●					
178	N02-178		フウ	15.0	167	8.0							2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○							有		無						舗装と、門扉に、近接している。	●					
179	N02-179		フウ	15.0	162	7.0		1.96	0.62	2.5			2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.50	A	○				○				有	○	無	無	無	13	14	13	13.3	幹芯からフェンスまでの離隔距離0.8m。 12m剪定でも樹形維持可能。			●	
180	N02-180		ケヤキ	18.0	264	12.0							2.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.50	A			○					有		大						大枝が、西側に伸長し、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。 根元が、フェンスと接触している。	●					
181	N02-181		サカキ	6.0	34	5.0							1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.25	A			○		○				無		無						葉に、吸汁痕、食害あり。		●			
182	N02-182		フウ	16.0	118	8.0							2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.50	A	○				○				無		小						樹木番号N02-192フウからの、被圧あり。		●			
183	N02-183		ユリノキ	16.0	217	8.0		2.42	0.77	3.08			2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.09	B					○		超	大	有	○	中	—	—	—	—	—		樹形に乱れがあり(大枝の強剪定、剪定痕からの腐朽あり)、不適。			●	
184	N02-184		ツバキ	3.5	12	1.5							2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.67	A						○			有		小						隣木の被圧あり。 片枝樹形である。 フェンスが、近接している。			●		
185	N02-185		ツバキ	3.5	16	1.5							2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B						○			有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●		
186	N02-186		ツバキ	3.5	18	1.5							2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B						○			有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●		
187	N02-187		ツバキ	3.5	14	1.5							3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C						○			有		小						隣木の被圧あり。 フェンスが、近接している。			●		
188																																										

エリア名				軟式野球場西側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目														
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採					
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (㎡)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長さ	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹					剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均
																							A	B	C													1回目	2回目	3回目	
										1～4評価				ABCD		該当に○			※:難の内、保存樹木のための詳細調査対象外																				該当に● ●:変更樹木		
207	N02-207		スダジイ	12.0	215	10.0								2.0	B			○									有		大							幹に、開口空洞・腐朽(大) 20×10×31/60(芯達)あり。 幹に、開口空洞 20×15×30/90あり。 大枝の枝折れ痕に、腐朽あり。 プレハブ倉庫に、近接している。	●				
208	N02-208		ソメイヨシノ	15.0	215	10.0		2.39	0.76	3.04	2.5	2.0	3.0	1.5	1.5	1.5	2.00	B									×	小	—	—	—	—	—	—	梢端枯れが多く、樹勢衰退がみられる。不適。 幹芯からプレハブ小屋までの離隔距離0.7m。			●			
209	N02-209		シラカシ	16.0	231	15.0		2.89	0.92	3.68	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.42	A									○	中	—	—	—	—	—	—	下枝が高く、移植に向けた剪定に適していない。 移植後の樹勢回復が難しい。			●			
210	N02-210		ナツミカン	5.0	70	5.0					1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.09	A	○															枯れ枝φ3cm,L=0.6mあり。		●					
211	N02-211		サカキ	3.5	2本立	2.0	21,12				1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.09	A	○								有		小					葉に、吸汁痕と、食害痕あり。 樹木番号N02-213ヒイラギモクセイからの、被圧あり。		●					
213	N02-213		ヒイラギモクセイ	3.0	39	2.0					2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	1.34	A		○							有		中					樹木番号N02-215シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。		●					
214	N02-214		ヒイラギモクセイ	3.0	13	2.0					2.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.50	A		○							有		中					樹形が、西側に傾斜している。 樹木番号N02-215シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。		●					
215	N02-215		シラカシ	15.0	97	7.0					2.0	1.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.84	B									有		中					幹に、開口空洞(中) 20×10×18/30(芯達)あり。 打音異常(大) H1.5m～2.0mあり。 枯れ枝 φ20cm,L=0.8mあり。 樹木番号N02-226シラカシからの、被圧あり。 プレハブ倉庫に、近接している。			●				
216	N02-216		サカキ	6.0	43	3.0		0.51	0.16	0.65	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.59	A		○							有	○	小	無	無	15	13	13	13.7	整った樹形である、適。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.2m、プレハブ小屋までの離隔距離0.3m。		●			
217	N02-217		ユリノキ	20.0	180	6.0					3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.5	2.25	B		○														中央部・下部で、大枝が少ない。 樹木番号N02-180ケヤキ、224クスノキからの、被圧あり。	●						
218	N02-218		タブノキ	8.0	39	4.0					2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.84	B																樹幹が、西側に傾斜しており、片枝樹形である。 周辺木からの、被圧あり。	●						
219	N02-219		クスノキ	10.0	51	6.0					2.5	2.5	2.0	1.5	2.5	3.0	2.34	B																下部の、大枝が少なく、枯れ枝が見られる。 周辺木からの、被圧あり。	●						
220	N02-220		サワラ																																						

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側										調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目															
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採						
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧					剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均
																							A	B	C													不可			
																							1～4評価															ABCD	該当に○		
312	N02-312		ヒマラヤシーダー	9.0	103	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
313	N02-313		ヒマラヤシーダー	9.0	113	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
314	N02-314		ヒマラヤシーダー	9.0	116	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
315	N02-315		ヒマラヤシーダー	9.0	101	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
316	N02-316		ヒマラヤシーダー	9.0	105	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
317	N02-317		ヒマラヤシーダー	9.0	95	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
318	N02-318		ヒマラヤシーダー	9.0	109	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
319	N02-319		ヒマラヤシーダー	9.0	106	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
320	N02-320		ヒマラヤシーダー	9.0	121	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
322	N02-322		ヒマラヤシーダー	9.0	118	2.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
323	N02-323		ヒマラヤシーダー	9.0	97	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
324	N02-324		ヒマラヤシーダー	9.0	108	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	
325	N02-325		ヒマラヤシーダー	9.0	103	3.0					3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.34	B				○						有		小							頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植樹内にある。 緑石の、押し上げ(小)あり。			●	

エリア名				軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目																			
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》									
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹		剪定・ 隣接 樹	土壌硬度				土壌 硬度3 回平 均			
																							A	B	C										1回目	2回目	3回目	20以上 未満				
1～4評価															ABCD		該当に○			該当に○ ※: 種の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小	大中小	大中小	1回目	2回目	3回目	20以上 未満								
352	N02-352		サンゴジュ	4.0	3本立	2.5	38,42,41							3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.09	C			○				無		小									葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。			●
353	N02-353		サンゴジュ	4.0	45	2.5								3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.09	C			○				無		小								葉に、食害痕が、多数あり。 中央部・下部に、枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●			
354	N02-354		イヌシデ	12.0	157	8.0		1.93	0.61	2.46	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A		○			○			高	大	有	○	無	無	無	21	18	15	18.0	円形(Φ2.0m)のアスファルト舗装に囲まれた植栽地にあり、根元は人工芝マットで覆われている。幹芯からバックネットまでの離隔距離2.4m。一部舗装剥がしチャレンジ移植。		●			
355	N02-355		スダジイ	10.0	216	10.0		2.59	0.82	3.3	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○				○			高	超	有	○	無	無	無	1	10	8	6.3	傘型樹形である。根上り、舗装の押し上げ(小)あり。 円形(Φ2.5m)のアスファルト舗装に囲まれた植栽地にあり、根元は人工芝マットで覆われている。舗装一部剥がしチャレンジ移植。			●			
356	N02-356		クロマツ	15.0	164	6.0		2.17	—	—	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2018年調査時点では生育していたが、2022年詳細調査の結果、枯死していた。			●			
357	N02-357		クロマツ	15.0	137	6.0					3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.75	C			○			○				無		大								隣接木からの被圧により、樹形が崩壊している。 幹に、ヘデラの登ハンがあり、覆われている。			●	
358	N02-358		ケヤキ	15.0	205	10.0		2.33	0.74	2.97	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○				○			超	大	無	○	小	無	無	10	4	6	6.7	ケヤキらしい自然樹形であり、移植の価値の高い樹木である。 樹高H12mで剪定しても問題ないと思われる。 幹芯から隣木クロマツまでの離隔距離1.9m。		●				
359	N02-359		ヒイラギモクセイ	4.5	2本立	2.0	37,29				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○						無		小								葉に、食害痕あり。 下枝が、少ない。	●			
360	N02-360		ヒイラギモクセイ	4.0	34	2.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○						無		小								葉に、食害痕あり。 下枝が、少ない。	●			
361	N02-361		ヒイラギモクセイ	4.5	2本立	2.0	27,29				2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○						無		小								葉に、食害痕あり。 下枝が、少ない。	●			
362	N02-362		コブシ	15.0	115	6.0					1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○				※					無		小								幹に、ヘデラの登ハンあり。	●			
363	N02-363		ヒイラギモクセイ	4.0	15	2.0					3.0	2.5</																														

エリア名				軟式野球場西側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)												:追加調査項目																		
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格						活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採					
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 腐	枝伸 長さ	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難				樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度					土壌 硬度3 回平均				
																							A	B	C	不可								1回目						2回目	3回目		
																							1～4評価											ABCD						該当に○		該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外	
417	N02-417		イチヨウ	20.0	284	10.0		3.47	1.11	4.42	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○						○				超	超	無	○	小	無	無	8	14	8	10.0	幹H1.6mに樹皮欠損(中)(120cm×20cm)があるが、現状問題なし。 樹形樹勢極めて良好な巨木。	●		
418	N02-418		イロハモミジ	10.0	2本立	8.0	97,92	1.59	0.51	2.03	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○						○				高	高	無	○	中	無	無	6	8	10	8.0	まれに見る極めて樹形・樹勢の良い樹である。	●		
419	N02-419		ヒサカキ	3.5	2本立	2.5	18,21				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○												無		小						フェンスが、1.0m(東側)の距離にあり。	●			
420	N02-420		イヌツゲ	3.0	35	2.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C			○										無		無						主幹が、枯死している。	●			
421	N02-421		モチノキ	5.0	59	2.5		0.8	0.25	1.02	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A			○				○			高	高	無	○	大	－	－	－	－	－	－	樹形にやや乱れあり。 代替え樹もある規格。	●			
422	N02-422		コブシ	12.0	135	6.0					2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.59	C			○					○				無		無						幹H1.9mに、開口空洞(大) 120×15×10/30あり。 幹に、開口空洞(小) 30×5×5/40あり。 幹に、打音異常(中) H1.0m～1.5mあり。 大枝に、枝折れ痕あり。	●				
423	N02-423		ミズキ	12.0	94	6.0		1.31	0.42	1.67	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A		○				○				高	高	無	○	小	無	無	10	15	10	11.7	下枝が少ないが樹高が高く上部に枝葉があり樹形、樹勢良好。 幹芯から隣木8N02-423(ミズキ)までの離隔距離1.6m。	●			
424	N02-424		シラカシ	10.0	128	8.0		1.36	0.43	1.73	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.92	B			○				○			高	高	無	○	小	－	－	－	－	－	－	幹H2.5mに開口空洞があり、移植には不適である。			●	
425	N02-425		シラカシ	12.0	196	8.0		2.26	0.72	2.88	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○					○				高	大	有	○	小	無	無	14	9	9	10.7	枝葉量が多く、樹勢は良好である。		●		
426	N02-426		モチノキ	8.0	3本立	6.0	54,93,31	2.02	0.64	2.57	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.75	A		○				○				高	大	無	○	中	無	無	10	9	5	8.0	場内で株立ちのモチノキは珍しい。 移植剪定において、3本立ちの細い1本を切除する必要がある。		●		
427	N02-427		モッコク	4.5	49	2.5					2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	2.00	B		○			○							無		中											

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場東側												調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)										:追加調査項目												
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》								
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹		土壌硬度				土壌 硬度3 回平 均			
																							A	B	C									不可							
																							1～4評価											ABCD	該当に○				※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外		
4	N01-004		ヒマラヤシーダー	18.0	169	4.0		—	—	—	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。			●				
5	N01-005		シダレザクラ	5.0	107	3.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○					有		大						隣接するヒマラヤシーダーの、被圧(大)あり。 剪定による、樹皮欠損・腐朽あり。 根元に、フェンスあり。 工事柵があり、根元の様子が確認できない状態にある。		●				
6	N01-006		ヒマラヤシーダー	18.0	292	6.0					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						対象木の存在を確認できなかった。 工事柵があり、根元の様子が確認できない状態にある。	●				
7	N01-007		ヒマラヤシーダー	18.0	143	6.0					3.0	3.0	3.0	2.5	1.5	3.0	2.67	C		○				※				無		大						被圧により、下枝が少ない。 工事柵があり、根元の様子が確認できない状態にある。	●				
8	N01-008		ヒマラヤシーダー	18.0	195	8.0					3.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.34	B		○				※				無		大						隣接するヒマラヤシーダーの、被圧(大)あり。片枝状態にある。 大枝・幹に、梢端切除あり。 幹の頂部において、断幹されている。	●				
9	N01-009		ヒマラヤシーダー	20.0	253	8.0					2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.75	A	○					※				有		中						被圧により、下枝が少ない。 根元付近に、フェンスあり。 工事柵があり、根元の様子が確認できない状態にある。	●				
10	N01-010		ヒマラヤシーダー	20.0	246	10.0		2.95	0.94	3.76	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.34	B			○				○		超	超	無	○	中	無	無	—	—	—	—	樹形に乱れあり(H12mまで下枝なし)。大枝の強剪定痕あり。 樹形維持困難。 移植樹として不適である。			●
11	N01-011		ヒマラヤシーダー	20.0	194	8.0		2.29	0.73	2.92	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.42	D		○			○				超	大	無	○	小	無	無	26	29	29	28.0	幹に開口空洞あるが、移植には問題なし。 大枝の強剪定痕がなく、良い管理状態にある。 剪定でも樹形維持可能。		●	
12	N01-012		ヒマラヤシーダー	20.0	189	6.0		2.33	0.74	2.97	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○				○			超	大	無	○	中	無	無	15	14	15	14.7	樹形が良い状態にある。 樹高大きく出来れば場内移植が良い。		●	
14	N01-014		ヒマラヤシーダー	18.0	129	4.0		—	—	—	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2018年調査時点では存在していたが、2022年詳細調査の結果、維持管理等のため伐採済みであった。			●		
15	N01-015		ヤエザクラ	4.0	111	2.5					3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.84	D			○					○			有		大						根元に、巻き根あり。 隣接するヒマラヤシーダーによる被圧(大)あり。 根元に、フェンスあり。			●	
17	N01-017		ヒマラヤシーダー	20.0	295	12.0		3.26	1.04	4.15	2.0	1.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.67	A			○				○		超	超	無	○	無	無	無	11	8	17	12.0	移植に向けた剪定により、 大枝を剪定すると、ふところ枝が無くなってしまう為、 移植樹としては不適である。			●
18	N01-018		シダレザクラ	10.0	96	4.0					3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00	C		○				※				無		大							隣接するヒマラヤシーダーによる被圧(大)あり。 幹に、つる植物(2種類)が登ハンし、被圧(大)あり。	●			
19	N01-019		シダレザクラ	8.0	96	5.0					3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.5	2.84	C		○				※				無		大							隣接するヒマラヤシーダーによる被圧(大)あり。	●			
20	N01-020		シダレザクラ	8.0	84	5.0					3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	4.0	3.50	D			○					○			無		大						幹に、打音異常 H1.2m～2.0mあり。 幹の入り皮部に、腐朽あり。 根元に、コフキサルノコシカケの子実体あり。 カミキリムシの食害痕あり。	●			
21	N01-021		ヤエザクラ	4.0	53	4.0					3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D		○		○						有		中							根元に、フェンスあり。	●			
22	N01-022		サクラ	5.0	32	5.0					1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.34	A	○			○						有		中								●			
23	N01-023		ヤエザクラ	3.0	62	4.0					3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	3.84	D			○					○			有		中							深植え状態にある。 根元に、フェンスあり。	●		
24	N01-024		ヒマラヤシーダー	20.0	233	10.0		2.86	0.91	3.64	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.75	A			○				○		超	超	無	○	無	無	無	—	—	—	—	枝が細く移植は可能であるが、幹にとっても大きな樹皮欠損があるため、移植樹としては相応しくない。			●
25	N01-025		ヒトツバタゴ	18.0	98	8.0					2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.84	B		○				※					無		小							幹に、樹幹傾斜があるが、上部で持ち直し。	●		
26	N01-026		ハナモモ	5.0	3本立	7.0	23,28,55				1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A		○		○						有		中							根元に、入り皮あり。 小枝に、コスカシバの食害痕あり。 深植え状態にある。 根元に、フェンスあり。	●			
27	N01-027		ヒトツバタゴ	8.0	47	5.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.17	B		○		○						有		中							深植え状態にある。 根元に、フェンスあり。	●			
28	N01-028		ハナモモ	4.0	2本立	5.0	35,41				2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.17	B		○		○						有		大							枝に、コスカシバの食害痕(中)あり。 盛土が、30cm以上あり。 大枝に、フェンスくい込みあり。	●			
29	N01-029		ヤエザクラ	10.0	2本立	8.0	103,140				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○				※				有		中							盛土が、30cm以上あり。 幹H0.6mに、入り皮あり。 大枝に、剪定による樹皮欠損・腐朽(中)あり。	●			
30	N01-030		ヤエザクラ	6.0	40	6.0					3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D			○					○			有		大						幹に、打音異常 H1.5m～2.0mあり。 幹に、コスカシバ食害痕(小)あり。 被圧による、枝枯れあり。 盛土が、30cm以上あり。	●			
31	N01-031		ヤエザクラ	8.0	2本立	8.0	47,94				3.5	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.17	C		○				※				有		大							大枝に、腐朽、打音異常あり。 幹H1.2mに、開口空洞、フェンスくい込みあり。 盛土が、30cm以上あり。	●			
32	N01-032		ヒマラヤシーダー	20.0	259	8.0					1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.42	A	○					※				有		小							盛土が、30cm以上あり。 フェンスとブロックが、北側と東側にある。	●			
33	N01-033		ヒマラヤシーダー	25.0	355	10.0		4.25	1.35	5.41	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.84	B			○				○		超	超	有	×	小	無	無	—	—	—	—	下枝が高さ12mまでほぼ無い状態である。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.95m、園路縁石までの離隔距離1.2mと1.5m。適正根鉢確保困難。 ※幹周・根元周は防球マットの上からの計測。			●

エリア名				軟式野球場東側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)													:追加調査項目															
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目											備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹					土壌硬度			土壌 硬度3 回平均
																							A	B	C													1回目	2回目	3回目	
								1～4評価				ABCD		該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満										
105	N01-105		マテバシイ	7.0	61	5.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○		○						無		大						被圧による、枝枯れ(小)あり。 ひこばえが、多数あり。		●			
106	N01-106		ケヤキ	20.0	301	15.0		2.96	0.94	3.77	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.67	A			○			○			超	超	有	×	無	無	無	—	—	—	—	樹形に乱れがあり(下枝が高い、枝の暴れ)。H12m剪定では樹形維持困難、不適。			●
107	N01-107		スダジイ	10.0	191	6.0					2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○			※					無		中						幹に、開口空洞が、数か所あり。 剪定痕に、腐朽あり。 根元に、樹皮欠損あり。	●				
108	N01-108		タブノキ	7.0	75	5.0					2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.17	B		○		○						無		中						被圧による、枝枯れあり。 葉に、病徴あり。	●				
109	N01-109		スダジイ	5.0	152	4.0					2.5	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.34	B		○		○						有		大						根元・幹に、打音異常(大) H0.0～2.5mあり。 幹H0.4mに、開口空洞 30×23×10あり。 幹に、腐朽あり。 枝抜け痕、多数あり。 フェンスに、接触している。 盛土が、20cm以上あり。	●				
111	N01-111		スダジイ	10.0	251	7.0		2.93	0.93	3.73	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.25	B			○			○			高	超	有	×	小	無	無	—	—	—	—	根元・幹がフェンスに接触している。 大枝に樹皮欠損や開口空洞・腐朽などが複数あり。 樹形に乱れあり、不適。			●
112	N01-112		シラカシ	15.0	144	8.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B		○				※					無		中						幹H2.0mに、開口空洞 30×20あり。 被圧により、東側の枝が少ない。 盛土が、30cm以上あり。	●			
113	N01-113		ウバメガシ	12.0	246	8.0		2.43	0.77	3.1	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.59	A	○				○				高	大	無	○	無	無	無	10	12	6	9.3	ナラ枯れ対策の粘着シート(カシナガホイホイ)、2020年9月設置から2年経過しているが、プラスや虫の死骸もみられず、元気な状態にある。 萌芽力旺盛で剪定しても樹形回復力有り。		●	
114	N01-114		モチノキ	7.0	42	3.0					1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.84	B		○		○						無		大						葉に、タイワントガリキジラムの虫害あり。 枝に、虫食いあり。	●				
115	N01-115		トウカエデ	12.0	78	4.0					2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.34	B		○			※					有		大						根元・幹H0.3mに、開口空洞 60×20×25/35(芯達)あり。 樹幹傾斜あり。 ヘデラの登ハンあり。 樹木番号N01-116シダレザクラに、近接している。 盛土が、20cmあり。	●				
116	N01-116		シダレザクラ	15.0	110	7.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○			※					有		大						樹幹傾斜あり。 ヘデラの登ハンあり。 樹木番号N01-185スダジイからの被圧により、枝枯れあり。	●				
117	N01-117																																								

エリア名				軟式野球場東側						調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)														:追加調査項目														
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度								保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》								
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 備	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧	剪定・ 対象 樹		剪定・ 隣接 樹	土壌硬度				土壌 硬度3 回平均		
																							A	B	C										1回目	2回目	3回目	20以上 未満			
1～4評価								ABCD		該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満														
128	N01-128		スダジイ	10.0	206	10.0		2.35	0.75	2.99	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○				○		高	大	有	○	無	無	無	—	—	—	—	樹形に乱れがあり(枝の分布に偏り、ふところ枝が少ない)、根元に開口空洞や幹・大枝に樹皮欠損などが散在し、移植樹として不適である。			●
129	N01-129		スダジイ	10.0	123	6.0		1.26	0.4	1.61	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○				○		高	高	無	○	無	無	無	—	—	—	—	枝葉量が少なく、根元に開口空洞、幹・大枝付け根・大枝に樹皮欠損などが散在し、移植樹として不適である。			●
130	N01-130		ブラタナス	18.0	217	10.0		2.85	0.91	3.63	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○				○		超	超	有	○	小	無	無	9	8	9	8.7	適度に剪定管理されており移植に適する。幹芯からフェンスまでの離隔距離2.1m。根鉢大。			●
131	N01-131		マテバシイ	8.0	63	3.0		0.74	0.24	0.94	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○				○		高	高	無	○	大	無	無	—	—	—	—	樹形に乱れがあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高い)、移植樹として不適である。			●
132	N01-132		シラカシ	15.0	128	8.0					2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.17	B			○				※				無		大						根元・幹に、打音異常(小) H0.0m～2.5mあり。盛土が、30cmあり。	●			
133	N01-133		ヒトツバタゴ	8.0	85	6.0					2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.09	B			○				※				有		大						樹幹傾斜あり。被圧による、枯枝あり。フェンスが、近接している。	●			
134	N01-134		マテバシイ	8.0	92	6.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○				※				無		大						被圧による、枯枝あり。	●			
135	N01-135		マテバシイ	6.0	83	5.0					1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.67	A			○				※				無		大						多芽病症状が、数か所あり。	●			
136	N01-136		シダレザクラ	6.0	50	5.0					2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B			○		○						無		中						根元周辺に、カーベットが敷設されている。盛土が、25cmあり。		●		
137	N01-137		ウバメガシ	8.0	2本立	4.0	114,103				2.5	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	2.34	B			○								有		中						幹H0.9mに、開口空洞 80×13×15/30(芯達)あり。幹H1.1mに、開口空洞 220×20×15/23(芯達)あり。根元に、開口空洞 15×5×10あり。幹が、H0.6mで、2分岐している。樹幹傾斜あり。盛土が、20cmあり。			●	
138	N01-138		イチヨウ	20.0	5本立	25.0	366.295.277.100?				1.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.92	B	○										無		小						根元に、コフキサルノコシカケの子実体あり。幹(南側)に、打音異常(小) H1.0m～2.0mあり。幹(東側)H2.1mに、開口空洞 10×5×10/25あり。株立ちの幹分岐部が、全て入り皮である。大枝(南側)に、腐朽あり。露出根に、樹皮欠損あり。株立ちで、立派な樹である。			●	
139</																																									

エリア名				軟式野球場東側							調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)											:追加調査項目															
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》								
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4 D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧		剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均		
																							A	B	C															
1～4評価																	該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高	超大 高	有無	○×	大中小 無	大中小 無	大中小 無	1回目	2回目	3回目	20以上 未満						
153	N01-153		クスノキ	15.0	199	10.0		2.48	0.79	3.16	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.92	B		○			○			超	大	無	○	中	無	無	14	13	19	15.3	移植に向けた縮小剪定をすると(樹高11m程度で剪定)、 胴吹き枝にて良い樹形になると思われる。 またH6mで3分岐しているが、拡がり過ぎておらず移植に適している。	●		
154	N01-154		ヤエザクラ	8.0	74	5.0					3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.50	D				○					無			大							枝抜け痕からの腐朽が、2箇所、打音異常あり。 樹幹傾斜あり。 巻き根あり。	●		
155	N01-155		クスノキ	15.0	2本立	10.0	200,204	3.28	1.04	4.18	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.59	A	○			○			超	超	無	○	小	無	無	6	9	7	7.3	移植に向けた縮小剪定をすると(樹高12m前後で剪定)、 胴吹き枝にて良い樹形になると思われる。 樹勢も良好である。根鉢は大きくBが適当。	●			
156	N01-156		マテバシイ	8.0	5本立	6.0	141,99,7 6,113,73				2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.42	B		○				○			有			中						幹(東側)H1.4mに、開口空洞 70×15×15あり。 大枝(南側)に、枯れあり。 南側の幹の葉に、黄変あり。 胴吹きが、多数。 フェンスが、近接している。	●			
158	N01-158		ツバキ	3.5	3本立	2.5	9,18,22				1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○		○					無			大						被圧により、下枝に枯損あり。 樹木番号 N01-160ヤエザクラに、近接している。	●			
159	N01-159		トウネズミモチ	4.0	17	2.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B				○					無			大						環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
160	N01-160		ヤエザクラ	12.0	104	6.0		1.22	0.39	1.55	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.17	C				○			高	高	無	○	大	無	無	—	—	—	—		樹形に乱れあり(被圧)、大枝に欠損あり、移植樹として不適である。	●		
161	N01-161		トウネズミモチ	6.0	39	4.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B				○					無			大						環境省指定の重点対策外来種である為、保存価値が低い。			●	
162	N01-162		シダレザクラ	8.0	129	7.0		1.56	0.5	1.99	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○			○			高	高	有	○	中	無	無	13	9	12	11.3	幹芯からフェンスまでの離隔距離0.4m、フェンス撤去可能。 根鉢確保、樹形維持可能。	●		
163	N01-163		シダレザクラ	7.0	118	5.0					2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.42	B				○					有			中						幹H1.1mに、開口空洞 40×20×8、打音異常あり。 ぶつ切り剪定されている。 ヘデラの登ハンあり。 フェンスが、近接している。	●			
164	N01-164		クロガネモチ	12.0	212	8.0		2.62	0.83	3.34	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.59	A	○				○			高	超	有	○	中	無	無	10	8	7	8.3	樹形に乱れあり(北側の枝が少ない)。その他は概ね問題なし。 幹芯からフェンスまでの離隔距離1.7mと2.3m。 樹形良好な巨木、根鉢大きく場内移植が適。	●		
165	N01-165		ツバキ	5.0	44																																			

既存樹木調査結果一覧

エリア名				軟式野球場東側							調査日			2018年12月25日～2019年1月28日 2022年4月25日～2022年4月28日※青字記載:追加詳細調査対象樹木(436本)													:追加調査項目																
連番	樹木番号	表示	樹種名	規 格				活力度							保存の必要性			移植				関連項目										備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》											
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち 幹周	根元 周径 (m)	根元 径 (D)	4D	樹形	樹勢	大枝幹 の欠損・ 傷	枝伸 長量	梢端 の枯 損	枝葉 の密 度	平均 評点	評価 結果	高	中	低	可	難			不可	樹高 13/ 15	根元径	根元 構造 物	根鉢 確保	片枝 被圧		剪定・ 対象 樹	剪定・ 隣接 樹	土壌硬度			土壌 硬度3 回平 均					
																							A	B	C																		
																							1～4評価												ABCD	該当に○			該当に○ ※:難の内、保存樹木のため詳細調査対象外				超大 高
251	N01-251		シダレザクラ	7.0	91	6.0				3.5	3.0	3.5	3.0	2.5	3.0	3.09	C			○				○			有		大							幹が、H2.0mで、断幹されている。 中枝が、1本のみ状態にある。 衰退傾向にある。 フェンスが、近接している。	●						
252	N01-252		イヌツゲ	3.0	3本立	2.5	16,17,28				2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○				○			有		小							刈り込み剪定されている。	●						
253	N01-253		シダレザクラ	7.0	114	6.0				3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.67	C			○				○			有		小							幹が、H4.5mにて、断幹されている。 高さH2.5mの上部が、枯損している。 フェンスが、近接している。	●						
255	N01-255		イヌツゲ	3.0	3本立	1.5	18,17,31				2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.09	B		○				○			有		小							枝に、イヌツゲ枝枯病(小)あり。 ひこばえが、多数あり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。	●						
256	N01-256		イヌツゲ	3.0	4本立	1.5	16,18,19,22				2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.09	B		○				○			有		小							枝に、イヌツゲ枝枯病(小)あり。 ひこばえが、多数あり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。	●						
259	N01-259		トウカエデ	15.0	245	7.0				2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○					○			有		無							枝に、ぶつ切り剪定、こぶあり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。	●						
264	N01-264		トウカエデ	12.0	229	7.0				3.0	2.5	3.5	2.5	3.5	3.0	3.00	C			○					○			有		無							幹H1.0mに、開口空洞 30×6×14あり。 梢端切除痕に、腐朽(大)あり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。	●					
265	N01-265		イヌツゲ	3.0	6本立	2.0	27,28,21,25,18,23				2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.17	B		○					○			有		小							枝に、イヌツゲ枝枯病(中)あり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。			●			
267	N01-267		シダレザクラ	8.0	96	6.0				2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.92	B		○					○			有		無							アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。			●				
268	N01-268		イヌツゲ	3.0	3本立	2.5	25,27,23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	活力度調査未了であったため、2022年に詳細調査を行なった。			●			
269	N01-269		シダレザクラ	5.0	64	5.0				2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	2.67	C		○					○			有		無							枝に、ぶつ切り剪定、腐朽あり。 幹に、こぶが、多数あり。 アスファルト舗装と、フェンスが、近接している。	●						
278	N01-278		ヤマザクラ	10.0	265	12.0				2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	2.75	C		○								有		小							株立の大枝に、腐朽、剪定痕あり。 幹H0.5mに、コフキサルノコシカケの子実体あり。 根元に、ベッコウタケの子実体あり。 ぶつ切り剪定痕に、腐朽あり。 巻き根あり。	●						
281	N01-281		カワツザクラ	5.0	31	4.0		0.57	0.18	0.73	—	—	—	—	—	—	—	—	○						○				高	高	無	○	無	無	無	20	10	18	16.0	若木で樹形、樹勢良好。		●	